

第5次与那原町総合計画

令和6年度 評価

与那原町

与那原町総合計画評価の状況（案）

		合計															
				目標 1		目標 2		目標 3		目標 4		目標 5		目標 6		重点	
A	R6	180	76%	17	57%	42	81%	26	96%	44	96%	24	73%	16	50%	11	65%
	前評価時 対比	36		1		18		0		4		10		3		0	
B	R6	56	24%	13	43%	10	19%	1	4%	2	4%	8	24%	16	50%	6	35%
	前評価時 対比	-17		3		-16		0		-4		-8		3		5	
C	R6	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
	前評価時 対比	-7		0		-1		0		0		-2		-3		-1	
D	R6	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	前評価時 対比	0		0		0		0		0		0		0		0	
合計		237	100%	30	100%	52	100%	27	100%	46	0%	33	100%	32	100%	17	100%

評価	内容	達成度合い
A	取り組んだ	全て取り組んだ
B	ほとんど取り組んだ	一部取り組んでいないものがある
C	一部取り組んだ	一部しか取り組んでいない
D	取り組んでいない	取り組んでいない

基本目標 1 みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり
施策分野 1－① 人づくり・地域づくり 【総計 4 0 ページ】

基本目標 1 みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が網がる新しいまちづくり 施策分野 1-① 人づくり・地域づくり 【総計40ページ】								評価	B
施策の推進		評価						担当課	
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 地域活動の活性化									
(1)	地域活動に対する意識を高め、交流と親睦を深めながら誰もが安心して暮らせるまちづくりに継続して取り組みます。 	A	【総務課】A ・町内の全13自治会において自治会交付金が活用され、交流と親睦を深めながら誰もが安心して暮らせるまちづくりに務めた。 ・自治会加入を促す横断幕を作成し、各区に配布し掲示した。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・地域活動の活性化について区長・自治会長とともに検討しながら、自治会交付金の積極的な活用を促進する。 ・町ホームページを活用し、各自治会の取組を発信する。	総務課	
				伝統文化活動支援補助金【総務課】	386,000	有			
				自治会加入促進横断幕作成【総務課】	308,000	有			
(2)	自治会交付金や伝統文化活動支援補助金を活用し、地域振興や活性化を継続的に支援します。 	B	【総務課】B ・町内の全13自治会において自治会交付金が活用され、交流と親睦を深めながら誰もが安心して暮らせるまちづくりに務めた。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・地域活動の活性化について区長・自治会長とともに検討しながら、自治会交付金の積極的な活用を促進する。 ・町ホームページを活用し、各自治会の取組を発信する。	総務課	
				伝統文化活動支援補助金【総務課】	386,000	有			
(3)	各種団体の活性化に力をいれ、生涯現役世代の活躍や生きがいづくりを継続的に支援します。 	B	【総務課】B ・町内の全13自治会において自治会交付金が活用され、生涯現役世代の交流と親睦を深めながら生きがいづくりを支援した。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・地域活動の活性化について区長・自治会長とともに検討しながら、自治会交付金の積極的な活用を促進する。 ・町ホームページを活用し、各自治会の取組を発信する。	総務課	
				伝統文化活動支援補助金【総務課】	386,000	有			
(4)	地域活動を通じて、地域内のコミュニケーションを深め「子どもから大人までが繋がる」環境づくりを推進するとともに、地域コミュニティの強化を図ります。 	B	【総務課】B ・町内の全13自治会において自治会交付金が活用され、「子どもから大人までが繋がる」環境づくりを支援した。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・地域活動の活性化について区長・自治会長とともに検討しながら、自治会交付金の積極的な活用を促進する。 ・町ホームページを活用し、各自治会の取組を発信する。	総務課	
				伝統文化活動支援補助金【総務課】	386,000	有			
2. 自治会への加入促進									
(1)	住民へ地域活動の目的を理解してもらい、自治会への加入促進を継続的に支援します。 	B	【総務課】B ・転入者へ自治会加入を促すチラシを配布した。 ・町公式LINEに自治会加入申込受付ページを開設した。 ・区が実施する地域活動へ交付金を交付し、自治会における各種イベント等の支援を実施し、自治会活動に参加してもらうきっかけづくりをサポートした。 ・横断幕を作成し、各自治会へ配布した。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・令和4年度に実施した自治会加入促進に向けたアンケート結果を踏まえ、自治会加入率の維持・向上について、区長・自治会長とともに検討し必要な対策を実施する。	総務課	
				伝統文化活動支援補助金【総務課】	386,000	有			
3. 自治会拠点施設の整備									
(1)	地域活動の拠点となる公民館や地域の情報共有の場となる掲示板などの環境整備の充実に向けた支援を継続して実施します。 	B	【総務課】B ・自治会掲示板を4基整備した。 (新島区1基、中島区1基、大見武区2基) ・自治会の音響機器を整備した。(板良敷区) ・放送設備修繕に対して補助金を交付した。(江口区)	一般コミュニティ助成金事業【総務課】 (総務事務運営事業)	2,421,500	有	【総務課】 ・自治会単独による一般コミュニティ助成金事業の活用を推進し、各自治会の環境整備を行う。 ・地域の方々が公民館に来館する機会を増やすため、来館の動機となる環境整備を検討する。(例：公民館内ネットワーク整備など)	総務課	
				自治会等修繕費補助金事業【総務課】	341,000	有			
4. 国内交流・国際交流の促進									
(1)	国内外とのネットワークを強化し、友好親善ならびに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材の育成を継続して取り組みます。 	A	【総務課】A ・海外友好親善大使人材育成事業 ペルーから研修生1名を受入、日本語・文化研修のほか、町民・町内団体等との交流も行った。研修生はもちろん、ペルー町人会のみなさま、与那原町民のみなさまの「ユナバルンチュ」のアイデンティティ形成に資するとともに、ペルーとのネットワーク強化および沖縄・与那原の文化の振興・発展に貢献しうる人材育成を図った。	与那原町海外友好親善大使人材育成事業【総務課】	2,090,757	無	【総務課】 引き続き研修生を受け入れ、各種研修および地域との交流を行い、友好親善大使としての人材育成を図る。	総務課	

基本目標 1 みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり 施策分野 1－② 自律・自立するまち 【総計4 2 ページ】								評価	B
施策の推進		評価							担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 住民と行政の役割分担									
(1)	地域の問題は、地域で考え解決できる環境づくりに継続して取り組みます。 	B	【総務課】B ・自治会交付金により地域の自主的、主体的な活動の推進を図った。 ・各自治会に対して、先進的に取り組んでいる県内外の自治会の講演会等の情報提供を行った。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・引き続き、他自治会の事例を共有し、本町での需要、実施の有無等について区長・自治会長と意見交換しながら検討する。	総務課	
(2)	地域と行政のあり方について、各区自治会との勉強会、意見交換会を継続して行います。  	B	【総務課】B ・行政懇談会（役場が各公民館を行き、地域の要望を受け、回答する場）を隔年で実施しており、令和6年度に実施した。 ・各自治会に対して、先進的に取り組んでいる県内外の自治会の講演会等の情報提供を行った。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・引き続き、他自治会の事例を共有し、本町での需要、実施の有無等について区長・自治会長と意見交換しながら検討する。	総務課	
2. 住民参画によるまちづくり									
(1)	住民一人ひとりが問題意識をもち、行政と連携して問題解決に参画できる仕組みづくりを継続して取り組みます。   	B	【総務課】B ・町内の全13自治会において自治会交付金が活用され、交流と親睦を深めながら誰もが安心して暮らせるまちづくりに務めた。 ・各自治会に対して、先進的に取り組んでいる県内外の自治会の講演会等の情報提供を行った。	自治会等交付金【総務課】	927,130	有	【総務課】 ・引き続き、行政と連携して問題解決が出来ている先進自治体等に関する情報提供を行い、本町の各自治会に置き換えて取り入れることを検討する。	企画政策課 総務課	
				伝統文化活動支援補助金【総務課】	386,000	有			
3. 男女共同参画社会の構築									
(1)	男女が社会の対等な構成員としてあらゆる分野における活動に参画する機会を確保し、ともに責任を担う社会の構築に向けた継続的な取り組みを図ります。  	B	【総務課】B ・令和6年度の与那原町職員における女性職員の割合は44.3%と前年度と同水準を維持。 ・令和6年度の課長担当職の女性の割合は5%、前年度と同水準を維持。	総務事務運営事業【総務課】	0	無	【総務課】 ・女性職員が昇進・登用への意欲を維持しながらキャリア形成が図れるように、長時間勤務の是正や人事評価についての適正な評価に取り組む。	総務課	
(2)	男女共同参画社会実現に向けた理解を深めるため継続的な情報発信や啓発活動に努めます。  	B	【総務課】B ・庁舎にてパネル展を行い、情報発信および普及啓発に努めた。	パネル展【総務課】	0	無	【総務課】 パネル展のほか、町ホームページや各行政区掲示板へのポスター掲示等情報発信手段を増やし、より普及啓発に努める。	総務課	
(3)	人権の尊重、多様性を認め合える平和な社会づくりを継続的に推進します。  	A	【総務課】A ・「人権擁護委員の日（6月）」および「人権週間（12月）」に合わせて、パネル展で普及啓発を行うとともに、特設相談所を開設し町民の人権侵害問題の把握に努めた。上記以外にも、小中学校での人権教室を行った。 ・無料法律相談を月1回実施し、住民が相談しやすい環境を整備した。	総務事務運営事業【総務課】	80,200	無	【総務課】 各取り組みを引き続き行うとともに、町ホームページや町公式LINEを活用して情報発信・普及啓発強化に努める。	総務課	
				弁護士委託事業【総務課】	660,000	無			

基本目標 1 みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり
施策分野 1-③ 情報の共有・共鳴で築くまち 【総計 4 4 ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
1. 情報の発信及び共有化								
(1)	住民が行政情報を得やすい環境の構築を継続的に実施します。 11 住民が受けとれるまちづくりを 16 平等と公正をすべての人に	A	【総務課】A ・広報よなばるを毎月発行し、町施策・各課お知らせ・町のできごと等さまざまな行政情報を発信した。 ・年度当初に町民カレンダーを発行し、年間スケジュールを分かりやすく発信した。 ・町ホームページにおいて、各課の情報発信をサポートするとともに、トップページからの各情報へアクセスのしやすさ改善に努めた。 ・東浜電光掲示板で、各課取組事業を周知した。 ・毎月の区長連絡会を通し、地域への伝達及び自治会内掲示板を活用した広報活動を行った。	広報事務運営事業【総務課】	12,111,270	無	【総務課】 各媒体を引き続き活用しながら、より分かりやすい情報の作成・発信に努める。	総務課
			電光掲示板情報発信事業【総務課】	1,232,064	無			
			行政事務委託料【総務課】	37,084,200	無			
(2)	観光情報や伝統行事などを積極的に情報発信し、町内外に広く「与那原町」をPRするとともに、迅速かつ正確な情報発信に努めます。 8 町民がより豊かになるまちづくりを	B	【総務課】B ・広報よなばるで特集を組み、PRを図った。 ・町ホームページで、バナーおよびメイングラフィックでの関連サイトへのリンク強化を行った。	広報事務運営事業【総務課】	12,111,270	無	【総務課】 観光政策、町文化の担当課へ、各媒体の特性を活かした情報発信を提案し、迅速かつ正確な情報によるPRを図る。	総務課
(3)	町役場職員のメディアリテラシー（情報を受け取る力）の育成を継続的に進めるとともに、住民のメディアリテラシーの向上に努めます。 11 住民が受けとれるまちづくりを 16 平等と公正をすべての人に	B	【総務課】B 地方公共団体システム機構（J-LIS）が実施するeラーニングを利用し、全職員に対し情報セキュリティ研修を実施した他、町の情報セキュリティポリシーより特に注意すべき事項を事例を交えて周知を行った。	eラーニング研修【総務課】	0	無	【総務課】 引き続き、職員に対して内外の研修を実施し、リテラシーの向上に努めていく。	総務課
(4)	SNSを利用した新たな情報通信技術を活用した広報手段の継続的な拡充に努めます。 11 住民が受けとれるまちづくりを 16 平等と公正をすべての人に	A	【総務課】A 町公式LINEにより迅速かつ正確な情報発信を行った。友達登録数約13,000人に対して町民登録者数見込み約9,000人で15歳以上の登録率61％を達成している。	LINEサービス利用料【総務課】	2,947,000	有	【総務課】 引き続き、町民の登録者増を目指すことで、迅速かつ正確な情報発信を行っていく。発信方法について、LINE上では画像をタップし、詳細の情報はHPへ誘導するなど、見やすさ、わかりやすさを重視した発信方法を職員へ周知し、利用者の満足度向上も目指していく。	総務課

基本目標 1 みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり 施策分野 1－④ 行財政運営 【総計4 6 ページ】								評価	A
施策の推進		評価	評価					担当課	
			実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 行政サービスの充実									
(1)	役場職員の知識や技能、教養の向上を図るとともに、役場窓口の接客は、誠実で明るい対応に努めます。 	A	【住民課】A ・窓口対応に係る課方針「おやくそく10カ条」を定め、来庁者へ公表することにより接遇意識の維持向上を図った。 ・満足の高い窓口サービスを維持した。 ・戸籍証明書の広域交付サービスを開始した。 【税務課】A ・課内OJTや各自、県内外にて必要な研修、また税専門のWEB研修を実施し、知識、技能の習得に努めている。	戸籍住民基本台帳事務事業【住民課】	22,114,542	有	【住民課】 ・接遇意識の共有と全庁への拡散 【税務課】 ・研修の参加、受講に積極的に参加し、税専門のWEB講義は、継続して実施する。	住民課 税務課 総務課	
(2)	・証明書のコンビニ交付サービスや行政手続きのオンライン化など新たなデジタル技術の活用により、住民ニーズにきめ細かに対応します。 	A	【住民課】A ・諸証明書コンビニ交付サービスにおける手数料を300円から10円へ引き下げ、広報周知の徹底を進め、サービス利用率を向上させた。 ・転出転入ワンストップサービスの継続 ・パスポート申請等のオンライン手続きを開始 【税務課】A ・窓口において、次回のためにもコンビニで取得可能である旨の案内を行っている。 ・LINEアプリを活用して、行政手続き（無収入申告）や証明書交付申請のオンライン化を図っている。 【総務課】A 手続きのオンライン化については、町公式LINE、LoGoフォーム、びったりサービスにより47の手続きを構築、運用している。	コンビニ交付サービス事業【住民課】 LoGoフォーム使用料【総務課】 LINEサービス使用料【総務課】	8,538,501 990,000 2,947,000	有 有 有	【住民課】 ・諸証明書コンビニ交付サービス利用率のさらなる向上 ・オンライン手続きの利用促進 【税務課】 ・引き続き、窓口においても、コンビニで取得可能である旨の案内を行う。 ・LINEアプリを活用して、行政手続き（無収入申告）や証明書交付申請のオンライン化を図っている。 【総務課】 引き続き現行の導入ツールを活用して、手続きのオンライン化を進めていく。R7年度以降は、マイナンバーカードを利用したオンライン手続き数を増やすと共に、新たにSMSを活用した町民への情報発信のサービスを開始し、さらなる町民サービスの向上を図っていく。	住民課 税務課 総務課	
(3)	多様なニーズに対応するために、広域で取り組むべき課題について継続的に関係機関と連携し検討します。 	A	【企画政策課】A ・東海岸地域サンライズ推進協議会により東海岸地域の活性化にむけ広域観光等連携促進事業に取り組んだ。 ・広域で取組むべき「ゴミ・火葬場」等の運営に関し広域連携事務として構成市町村と連携して広域まちづくりに取り組んだ。（補助金の交付）	東海岸地域サンライズ推進協議会 企画事務運営事業	450,000 6,036,000	有 有	【企画政策課】 ・各種広域組合と連携し、関係市町村との連携したまちづくりを実施する。	企画政策課	
2. 税金の仕組みに関する教育・啓発活動									
(1)	税金の仕組み・重要性、納税の義務または必要性を知ってもらうために、小学校6年生を対象とした租税教室を継続して行うとともに、開催方法についても検討します。 	B	【税務課】B ・与那原小学校は、希望がなかったため、実施できていない。 ・与那原東小学校については、対象学年をクラスごとに実施できた。電子黒板を活用し、動画やクイズを織り交ぜながら、税の重要性など学習の機会を作ることができた。	租税教室【税務課】	0	有	【税務課】 ・町内両小学校が実施できるよう調整し、税の重要性などを学習する機会を継続的に確保していく。	税務課	
(2)	税に関するQ&Aを町民対象の広報紙への掲載やSNS等を活用し、税金の仕組み・重要性などの周知に継続して取り組みます。 	A	【税務課】A ・公式ラインを活用し、各税目の納付時期をお知らせしている。 ・納税に関する疑問等について広報に掲載し、納税の重要性や納税の啓発に努めている。	納税に関する広報活動【税務課】	0	有	【税務課】 ・引き続き広報活動を行いつつ、納税通知書へもQ&Aへ導くQRコードを掲載し、納税意識の向上を図る。	税務課	
3. 納税賦課徴収業務									
(1)	公平公正な賦課徴収を継続するために課税客体の把握、また説明責任をしっかりと果たします。さらに自主納付の呼びかけなどを継続して行いつつ、応じない場合は、公平性の観点からも関係機関と連携しながら滞納処分の検討を行い、適正に実施します。 	A	【税務課】A ・的確な課税客体の把握に努め、適正課税に努めている。 ・納税に対する公平性を念頭に督促状の発送、差押え予告、滞納処分を実施。 ・生活の状況を鑑み、執行停止の判断を行えるよう、係に対して、研修を行っている。	納税賦課徴収事業【税務課】	17,396,625	有	【税務課】 ・税務行政にとって、賦課と徴収が中心的な業務であり、継続して、正確性と公平性を追求する。	税務課	
(2)	税の納付についてはこれまでに口座振替や、コンビニ収納、町単独でのスマホ及び地方税統一QRコードによる納付の拡充など、納付しやすい環境を整えてきましたが、今後は全ての税目において地方税統一QRコードによる納付が可能となるよう取り組みを推進します。 	A	【税務課】A ・口座振替や、コンビニ収納、スマホ及び地方税統一QRコードによる納付しやすい環境を整備。今後、全ての税目において地方税統一QRコードを導入するかは要検討である。	納税賦課徴収事業【税務課】	0	有	【税務課】 ・納付環境は、かなり整備され、時、場所を選ばず、納付が可能となっている。引き続き、現在の納付環境を継続し、かつ他の税目において検討する。	税務課	

4. 健全な財政運営の推進										
(1)	健全で持続可能な財政を維持し、「第5次与那原町総合計画」に掲げた諸施策を計画的に推進するために、中長期財政計画を策定し、「計画的に事業を実施することにより財政の健全化を図ります。」 	A	【財政課】A ・財政シミュレーション（令和2年～令和11年）のローリング作業を行った。	与那原町財政計画の策定【財政課】	0	有	【財政課】 ・与那原町財政改革検討委員会において歳入増と歳出抑制の方策を検討し財政の健全化を図る。	財政課		
(2)	公会計制度を導入することで、町所有の土地や建物、部品などのコストやストックを把握し、公共施設マネジメントや中長期的な財政運営への活用を図っていきます。 	A	【財政課】 ・地方公会計制度導入により財務書類及び固定資産台帳を整備し、その台帳及びその他計画をもとに基金積立計画の見直しを行った。	財務書類作成業務【財政課】	2,310,000	無	【財政課】 ・固定資産台帳をもとに公共施設整備に係る基金積立計画の見直し。 ・総合管理計画及び個別計画を基に、長寿命化に係る予算を基金積立計画に反映させ、今後の公共施設マネジメントを検討する。	財政課		
(3)	行財政改革大綱に基づき、新たな財源の確保として個人版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングの推進を図ります。【新規施策】 	A	【ブランド推進課】A ・新たな財源の確保を目標として個人版ふるさと納税の推進を行った。新規事業者の開拓やお礼品の掲載数増、県内外のイベントで与那原町ふるさと納税のPRを行うなどし、令和6年度の寄付額は144,519,000円で前年度の128%増となりました。	ふるさと基金積立事業【ブランド推進課】	142,854,471	有	【ブランド推進課】 ・引き続き寄付額増を目指して新規事業者や返礼品の登録を行い、200,000,000円の寄付額を目標とする。 ・地域活性化企業人と連携を取り、新規返礼品の開発やふるさと納税PRを行う。	ブランド推進課		
(4)	企業版ふるさと納税を活用し、企業と連携した創生総合戦略事業の実施を推進します。【新規施策】 	A	【ブランド推進課】A 企業版ふるさと納税で寄附いただいた1,900,000円の寄付金を創生総合戦略事業の【基本目標1：稼ぐ地域をつくり安心して働けるようにするとともに、新しいひとの流れをつくる】に該当する与那原大綱曳まつり事業実施を推進しました。	企業版ふるさと納税活用推進事業【ブランド推進課】	0	有	【ブランド推進課】 ・企業版ふるさと納税の認知度を高める（チラン作成を行い与那原大綱曳まつりと連携しPRする）とともに寄付額の増を目標とする。	ブランド推進課		
5. DX推進による行政サービスの充実										
(1)	手続きのオンライン化や公共料金支払いのキャッシュレス化などデジタル化することにより町民サービス向上につながる施策に取り組み、町民の利便性向上を目指します。【新規施策】 	A	【税務課】A ・申告（スマホ、PC）のオンライン化を促進するため、スマホ教室の開催や申告時にeITAXコーナーを設置。 ・地方税統一QRコードの導入によりキャッシュレス決済が容易となる ・LINEアプリを活用し、無収入申告や証明書交付申請などデジタル化をすることにより、利便性の向上を図っている。 【総務課】A 手続きのオンライン化については、町公式LINE、LoGoフォーム、びったりサービスにより47の手続きを構築、運用している。公共料金支払いのキャッシュレス化については、個人住民税、軽自動車税、固定資産税、国民健康保険税、上下水道料金の5税目が可能となっている。またイベントや各種手数料支払いのキャッシュレス化についても、税関係証明等5件が可能となっている。				【税務課】 ・現サービスを維持しつつ、新たにデジタル化することにより、利便性が向上するものはないか、検討する。 【総務課】 引き続き現行の導入ツールを活用して、手続きのオンライン化を進めていく。キャッシュレス化についても、国のeL-QRが利用可能な公共料金の税目が増える予定であることから、それに合わせてキャッシュレス化を拡大していく。	住民課 税務課 総務課		
				LoGoフォーム使用料【総務課】	990,000	有				
				LINEサービス使用料【総務課】	2,947,000	有				
(2)	A I ・ R P A ※12の導入や新たなデジタル技術の導入により業務効率化を図り、職員の業務負担軽減とともに町民サービスの向上を目指します。【新規施策】 	A	【総務課】A 国の交付金を活用してRPA・AI-OCRツールを導入し、計10業務のツールを活用したシナリオを構築し、業務効率化を図った。業務削減時間としては年間で約1100時間。また同時に一部手続きのオンライン化を合わせて実施したことで、業務効率化と同時に町民の利便性向上を図った。	RPA・AI-OCRツール導入業務【総務課】	8,029,950	有	【総務課】 引き続き現行の導入ツールを活用して、さらなる活用業務のシナリオ作成数を増やしていく。また手続きによっては同時にオンライン化も図ることで、職員の業務負担軽減と町民サービスの向上を同時に図っていく。	総務課		

基本目標 2 「いちゃりばちゅーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2-① 学校教育の充実 【総計52ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
1. 学力向上の取り組み								
(1)	講演会や研修・先進地視察などで、教職員の意識向上と授業改善に継続して取り組みます。 	A	【学校教育課】A ・毎年講師を招聘した幼小中合同研修会、初任者・中堅教諭、教職経験5年以下研修を開催した。 ・各小中学校に配置されている支援員を対象に子供の寄り添い方や支援方法について研修会を実施した。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・「与那原町学力向上推進協議会」の年間事業計画に基づき、効果的な研修会を実施して、教職員の資質向上と授業改善に取り組む。	学校教育課
(2)	保・幼・こ・小・中の連携を深め、さらに高校、大学や企業等との連携も強化し、継続してキャリア教育※14の充実に努めます。 	A	【学校教育課】A ・「キャリア教育担当者会議」で児童生徒のキャリア形成、キャリア教育の推進、家庭・地域との連携等を確認し、キャリア教育で育成すべき資質・能力等を確認し理解を深めた。 ・年々、蓄積されている「キャリアパスポート」を活用し、継続的なキャリア教育の支援に活用した。	事務局運営事業【学校教育課】	0	有	【学校教育課】 ・キャリア教育連絡会で、与那原町版「キャリア・パスポート」の効果的な活用について、共通理解・共通実践を図っていく。 ・地域教育コーディネーターと連携を図りながら、職場見学や職場体験学習等の充実や授業における地域人材活用を年間を通し推進し、キャリア教育の充実に資するよう努めていく。	学校教育課
(3)	児童・生徒へのきめ細やかな対応を行うために継続して特別支援教育支援員、学習支援員などを配置します。 	A	【学校教育課】A ・町内小中学校に学習支援員12名、特別支援教育支援員18名、スクールカウンセラー1名、英語指導助手名を配置し、きめ細かな児童生徒への支援を行った。	国際理解人材育成事業【学校教育課】	7,297,941	有	【学校教育課】 ・学校の実情を勘案しながら、計画的に支援員等を配置し、良好な学びの場を確保する。	学校教育課
				JETプログラム事業【学校教育課】	13,895,189	有		
				きめ細かな児童生徒支援事業【学校教育課】	109,413,074	有		
(4)	幼児児童生徒が「新たな時代をつくるために必要とされる資質・能力」を育むことを目的に、「沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII」を推進します。 	A	【学校教育課】A ・学校教育部会で小中学校のねらいを定めた学力向上強化月間の推進した。（4月・9月・1～3月） ・日々の授業を充実させるために「問いが生まれる授業サポートガイド」等を活用し、授業改善を推進した。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・学力向上推進協議会の事業計画に基づき、短期PDCAサイクルでより良い方向へ推進していく。	学校教育課
2. 学校ICT教育の充実								
(1)	個別に最適な学びの場を提供するため、継続的に教育ICT機器の更新等を推進します。 	A	【学校教育課】A ・学習教材ソフトを一人一台端末から活用できるようにして「個別最適な学び」の充実を図った。 ・電子黒板を与那原小学校に4台、与那原東小学校へ4台、与那原中学校へ7台整備した。 ・フィルタリングソフトを導入し、タブレットの持ち帰りに対応し家庭学習におけるタブレットによる学習環境を整えた。	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業【学校教育課】	7,149,450	有	【学校教育課】 ・全教室に漏れなく電子黒板を設置するとともに、タブレットを自宅持ち帰りをさせ、家庭学習の工夫・改善を行い、自学自習力の向上を図り、計画的にGIGAスクール構想を推進していく。	学校教育課
(2)	学校の電子黒板、タブレット端末などのICT機器をより効果的に活用するために、情報支援員による講習会の開催、ICT教材などの情報収集に継続して取り組みます。 	A	【学校教育課】A ・情報教育支援員を配置し、授業を展開する上で教師の補助を行い、効果的にICT機器を活用することができた。 ・情報教育支援員を配置し、タブレットを活用して児童生徒が授業を円滑に行えるよう支援を行った。	きめ細かな児童生徒支援事業【学校教育課】	109,414,479	有	【学校教育課】 ・教職員の電子黒板、タブレット端末の操作技術を向上させ、ICTを活用した効果的な授業展開を促進する。	学校教育課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2－① 学校教育の充実 【総計52ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
3. 支援が必要な児童・生徒への個に応じた対応								
(1)	支援を要する児童・生徒などへ個に応じたきめ細かな対応を行うために、継続して特別支援教育支援員、学習支援員などを適正に配置します。 	A	【学校教育課】A ・町内小中学校に学習支援員12名、特別支援教育支援員18名、スクールカウンセラー1名、英語指導助手名を配置し、きめ細かな児童生徒への支援を行った。	国際理解人材成事業【学校教育課】	7,297,941	有	【学校教育課】 ・学校の実情を踏まえながら、適材適所に支援員等を配置して、良好な学びの場を確保する。	学校教育課
				JETプログラム事業【学校教育課】	13,895,189	有		
				きめ細かな児童生徒支援事業【学校教育課】	109,414,479	有		
(2)	校外に設置されている適応指導教室と連携を図り、引き続き不登校児童生徒の学校復帰を支援します。 	A	【学校教育課】A ・不登校・ひきこもり等により学校へ行けない中学生やその保護者を支援・相談する「居場所」を提供し、学習支援、課外学習を通しての生活支援、キャリア教育等を行った。	拠点型子どもの居場所の運営支援事業【学校教育課】	23,019,222	有	【学校教育課】 ・継続して「拠点型子どもの居場所」を実施して、不登校やひきこもり等により教室には入れない生徒やその保護者を支援する。	学校教育課
(3)	増加傾向にある不登校児については、それぞれの児童・生徒の個々の状況を把握し、関係機関と連携の上、適切に教育を受けられる環境を継続して提供します。 	A	【学校教育課】A ・不登校・ひきこもり等により登校できない中学生やその保護者を支援・相談する「居場所」を提供し、学習支援、課外学習を通しての生活支援、キャリア教育等を行った。	拠点型子どもの居場所の運営支援事業【学校教育課】	23,019,222	有	【学校教育課】 ・不登校やひきこもり等により学校へ行けない児童生徒やその保護者を関係機関とつなぐ等の支援を充実させる。	学校教育課
				不登校対策等支援事業【学校教育課】	13,465,067	有		
				校内自立支援室事業【学校教育課】	4,075,986	有		
4. 豊かな心の育成								
(1)	偏見のない児童・生徒の育成のためインクルーシブ教育※15システム構築のための特別支援教育を継続的に推進します。 	B	【学校教育課】B ・障がいの有無に関わらず可能な限り共に学ぶ仕組み（インクルーシブ教育）の重要性が認識されつつあるが、引き続き「与那原町特別支援教育スタンダード」を町立学校に配布し、推進を促した。 ・初任教員と中堅教員に対し特別支援教育に関する研修会を実施した。	事務局運営事業【学校教育課】	0		【学校教育課】 ・学校や家庭・地域や関係機関と連携しながら「与那原町特別支援教育スタンダード」の浸透・推進を図っていく。	学校教育課
(2)	豊かな心を育むために、各学校において講演会を開催するなど、継続的な道德教育を推進します。 	A	【学校教育課】A ・各小中学校の実態に応じ、町内全小中学校にネットリテラシーの講演会を実施できた。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000		【学校教育課】 ・道德教育や人権教育、体験活動や奉仕活動等を充実させ、学校教育活動全体を通して豊かな人間性を育む。	学校教育課
(3)	道德の授業や平和学習などに継続して取り組み、生命の大切さや人権を尊重する思いやりのある心を育みます。 	A	【学校教育課】A ・生涯学習振興課と連携し平和教育月間（6月）における平和学習を実施した。 ・定例の「生徒指導連絡会」において指導が困難な児童生徒への指導手法に関して、助言を行った。	事務局運営事業【学校教育課】	0		【学校教育課】 ・心の教育の核となる道德科の授業づくりに力を入れ、平和教育担当等と連携を図りながら、学校全体で平和教育や人権教育等への意識を高めていく。	学校教育課
5. 学校教育施設の充実								
(1)	学校給食を近隣市町村との共同運営も視野に入れ、耐震基準をクリアした施設への建て替えを継続して検討するとともに学校給食を通じ、さらなる食育を推進します。 	A	【学校教育課】A ・与那原町・八重瀬町による給食センター共同整備の協議結果を踏まえ、2町による広域連携学校給食センター基本計画を策定し、2町による協議会を立ち上げた。	学校給食運営事業【学校教育課】	0		【学校教育課】 設立した協議会を中心として、広域学校給食センターの建設に向けて取り組んでいく。	学校教育課
				広域連携学校給食センター整備事業【学校教育課】	14,855,579			
(2)	安心安全な教育環境を目指すため、将来的な与那原小学校の建替を見据え、校舎の耐力度調査や基本計画等の策定に向けた取り組みを推進します。 	A	【公共施設課】A ・県教育庁施設課とのヒアリングにおいて、長期計画を提出し、与那原小学校の改築事業や耐力度調査の時期など協議を行った。 ・令和7年度予算に与那原小学校校舎耐力度調査業務委託費を計上。	与那原小学校管理運営事業【公共施設課】	0	無	【公共施設課】 ・耐力度調査業務委託の業務の執行。報告書取りまとめ。 ・耐力度調査報告書の内容を把握し、関係課含め県教育庁施設課との内容聴取を行い、今後の改築（建替）、長寿命化事業の方向性の協議を行う。	学校教育課 公共施設課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2-② 家庭教育の定着 【総計56ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. P T A 活動の活性化								
(1)	学校と家庭との交流が行える教育活動を継続的に実施し、PTA活動などの活性化に取り組みます。 	A	【学校教育課】A ・拡大家庭地域教育部会や支部懇談会にて、各PTAの取り組みについて検討して実施した。 学力向上推進総会及び学力向上推進実践発表会を開催することができた。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・地域教育懇談会などの開催し、児童生徒の健全育成と幸せを願うという共通の目標に向かって協働し合う関係を強化する。	学校教育課
(2)	夏休み期間中に公民館などで「子ども寺子屋」を開催するPTA支部に学習支援員を継続的に派遣することにより、家庭学習の定着とPTA活動の活性化を図ります。 	A	【学校教育課】A ・7つのPTA支部で支部学習会（寺子屋）が実施できた。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・支部学習会（寺子屋）を実施し、学習支援員を派遣して夏休みの課題に取り組ませる。	学校教育課
(3)	PTA活動を活性化させることを目的に、モデルとなるPTA支部の育成を継続して実施します。 	A	【学校教育課】A ・東浜支部（与小校区）がモデル支部となり、新聞製作や史跡巡り等の活動を行い、児童、保護者同士の絆が深まった。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・モデルとなる支部に偏りが出ないように、積極的な立候補を促し多様なモデル支部の育成を目指す。	学校教育課
2. 学校教育の情報公開								
(1)	学校評議員や親の学びあいなどの活動を継続して実施し、家庭と学校に関する課題の情報を共有します。 	A	【学校教育課】A 各学校において学校評議員会を年3回開催し、学校に関する課題の情報を共有した。	各学校管理運営事業【学校教育課】	82,834,665	有	【学校教育課】 次年度より学校運営協議会を立ち上げ、学校経営のビジョンを共有し、SDGsを意識した社会に開かれた教育課程の実現を目指していく。	生涯学習振興課 学校教育課
			事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有			
(2)	引き続き、家庭と学校の連携強化を図り、心身豊かな子どもの成長に努めます。 	A	【学校教育課】A ・地域教育懇談会の開催を通して家庭と学校の連携を図った。 ・学校評議員を開催して、地域とともにある学校づくりについて協議することができた。	各学校管理運営事業【学校教育課】	82,834,665	有	【学校教育課】 次年度より学校運営協議会を立ち上げ、学校経営のビジョンを共有し、SDGsを意識した社会に開かれた教育課程の実現を目指していく。	生涯学習振興課 学校教育課
			事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有			
3. 家庭学習の習慣化								
(1)	継続した「家庭学習の手引き」の配布・周知を行い、家庭学習の定着による学力向上を図ります。 	A	【学校教育課】A ・家庭学習のリーフレットを作成し、家庭学習の重要性を理解してもらい家庭学習の定着を図った。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・家庭学習リーフレットを作成し、家庭で実践するよう継続して周知徹底を図る。	学校教育課
(2)	子ども寺子屋に学習支援員を継続的に派遣し、家庭学習の方法を教え習慣化を図ります。 	A	【学校教育課】A ・支部学習会（寺子屋）に学習支援員を配置して、夏休みの宿題やドリル学習等の個別学習の支援を行った。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・支部学習会（寺子屋）へ学習支援員を派遣し、家庭学習を支援し、家庭学習の工夫・定着を図る。	学校教育課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち 施策分野 2-③ 青少年健全育成 【総計59ページ】							評価	A	
施策の推進		評価							担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 青少年健全育成支援体制強化									
(1)	青少年を事件・事故などの有害環境から守るため、関係機関と連携し、運営体制の再構築も図りながら夜間パトロールなどを継続して取り組みます。 	A	【生涯学習振興課】A ・ 5月から翌年3月まで、関係者と共に第3金曜日に夜間パトロールを実施した。	青少年健全育成事業（町青少年健全育成町民会議事業）【生涯学習振興課】	600,000	有	【生涯学習振興課】 ・ 令和7年度より、パトロールの実施方法を検証するため、巡回時間を15時～17時間の1時間とし、防犯・交通安全指導・見守りへと変更する。 ・ 引き続き与那原署館内の情報共有の体制強化を図る。	生涯学習振興課	
(2)	各種発表会や町民大会などを実施し、青少年の健全育成に継続して取り組みます。 	B	【生涯学習振興課】B ・ 規模を縮小し、町民大会や少年の主張大会を実施した。 ・ 講演会は講師との調整が合わず実施できなかった。	青少年健全育成事業（町青少年健全育成町民会議事業）【生涯学習振興課】	600,000	有	【生涯学習振興課】 ・ 町民大会については、引き続き実施し、少年の主張大会は町大会は実施せず、中学校から1名推薦してもらう方式へと変更する。 ・ 講演会については、オンライン開催も検討しながら事業実施に努める。	生涯学習振興課	
2. 健全な心身の育成									
(1)	大綱曳をはじめとする家庭や地域と連携した各種行事の開催や、PTA活動などをとおして、豊かな心の教育に努め、子どもたちの心の居場所をつくります。 	A	【学校教育課】A ・ 東浜支部（与小校区）がモデル支部となり、新聞製作や史跡巡り等の活動を行い、児童、保護者同士の絆が深まった。 【生涯学習振興課】B ・ 特に行事としての実施はできなかった	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 各地域の活動を支援することで協働体制を構築し、学校パートナーとして児童生徒、保護者同士が触れ合える機会の増加に努める。 【生涯学習振興課】 ・ 「親の学びあい」プログラムを活用し、家庭、地域との連携を図り、PTA活動を通して豊かな心の教育に努める。 ・ 各PTA支部へ「親の学びあい」プログラムの趣旨説明を行い、周知に努める。 ・ 各地域の活動を支援することで、児童と保護者同士が触れ合える期間の増加に努める。	学校教育課 生涯学習振興課	
(2)	基本的生活習慣の確立を図るため、家庭や学校、地域及び各種関係機関と連携を図ります。 	A	【学校教育課】A ・ のぼりを掲げて、てくてく登下校を推進し、健康でたくましい体づくりと基本的生活習慣の定着を図った。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・ 体力づくりと生活習慣の確立を図るため、「てくてく登下校」をHP等で呼びかけて「徒歩通学」の推進を図っていく。	学校教育課	

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2－④ 地域交流と支援体制 【総計61ページ】

評価
A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 学校との連携								
(1)	学校評議員に地域の人材を幅広く登用することにより、学校経営への参画が促されます。ただし今後、コミュニティスクールへ移行し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。 	A	【学校教育課】A ・各学校とも地域のふさわしい人材を学校評議員へ登用して、学校評議員の充実を図っている。 ・コミュニティスクールへの移行のため規則等の基盤整備を行った。	各学校管理運営事業【学校教育課】	82,834,665	有	【学校教育課】 ・来年度からは、学校運営協議会を立ち上げ幅広く地域の人材を活用して、「地域とともにある学校」を目指す。	学校教育課
(2)	保護者・地域に対し、引き続き協力を依頼することで、職場見学・体験の受け入れ先を充実します。 	A	【学校教育課】A ・保護者や地域の協力を得て、福祉学習や職業人講話を実施しキャリア教育の充実を図った。	事務局運営事業【学校教育課】	0	有	【学校教育課】 ・学校、保護者、地域と連携し職場見学・職場体験を実施する。	学校教育課
2. 家庭との連携								
(1)	夏休み期間中に公民館などで開催される「子ども寺子屋」の見守りとして地域の方々が立ち会うことにより、家庭学習の定着を支援するとともに地域の方々が教育を知る機会の提供を図ります。 	A	【学校教育課】A ・支部の担当者（保護者）と町の学習支援員で、宿題やドリル学習等の個別指導やバラエティに富み、児童生徒が興味を持つ豊かな体験プログラムを実施できた。	事務局運営事業（学力向上推進協議会負担金）【学校教育課】	1,850,000	有	【学校教育課】 ・支部学習会（寺子屋）を実施することにより、学習方法を支援するとともに家庭学習の定着を図っていく。	学校教育課
3. 人材の活用・育成								
(1)	生涯学習と連携しながら、地域の多様な世代の人材を活用し、授業の一環としての講話や、ものづくりなどを通じさまざまな体験学習の機会を持つことにより、地域で教育する環境づくりに継続して取り組みます。 	A	【生涯学習振興課】A ・学校からの依頼で地域人材を授業等に派遣しており、令和6年度についても、依頼のあったものについて可能な限り多種多様な人材を派遣できた。 ・放課後子ども教室にて「地域の子どもは地域で育てる」をコンセプトにボランティアスタッフの見守りによる居場所づくりを行った。併せて、令和7年度から講座形式による教室開催に向け実証実験含め準備を進めた。	学校支援地域本部事業【生涯学習振興課】	1,143,824	無	【生涯学習振興課】 学校のカリキュラム内で行う地域人材を活用した学びの場の提供と合わせて、放課後の居場所づくりの中でも生涯学習の一貫としての学びの提供を行い、地域で子どもたちを育てる取組みを進めていく。	生涯学習振興課
				放課後子ども教室推進事業【生涯学習振興課】	1,047,793	無		
(2)	講師や学校支援ボランティアにふさわしい人材を多様な世代に渡り発掘し、人材バンク登録の充実を図ります。 	A	【生涯学習振興課】A ・学校支援ボランティア数77名、放課後子ども教室30名を登録している。	学校支援地域本部事業【生涯学習振興課】	1,143,824	無	【生涯学習振興課】 今後も、放課後子ども教室及び学校支援ボランティアに適した人材を多世代に渡り発掘し、地域社会全体で子供たちを育てる取組を進めていく。	生涯学習振興課
				放課後子ども教室推進事業【生涯学習振興課】	1,047,793	無		

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2-④ 地域交流と支援体制 【総計61ページ】

基本目標 2 「いちゃりばちよーでー」 平和の心で網がる教育文化のまち										評価	A
施策の推進			評価							担当課	
			評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性			
					事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無				
(3)	多様な人材を活用し、サークル活動や講座、平和学習などの生涯学習を継続的に進めます。  	A	【総務課】A 「与那原町民平和の日（5月21日）」を中心に、平和記念事業（パネル展・町内戦跡めぐり・平和記念式典）を開催し、平和の尊さを改めて感じる機会を提供できた。戦跡めぐりおよび式典においては、町民の皆さまにお力添えをいただき、有意義なものとする事ができた。 【生涯学習振興課】B ・公民館講座3回、プラネタリウム上映会を1回実施した。	総務事務運営事業【総務課】	178,050	無	【総務課】 戦争体験者の高齢化により証言を聴く機会がますます減っていく中で、行政として恒久平和に資する責任を自覚し、平和の発信に努める。 【生涯学習振興課】 ・今後も様々な年代を対象とした講座を実施し、生涯学習の推進に努める。	生涯学習振興課 総務課			
				公民館管理運営事業【生涯学習振興課】	12,312,312	無					
(4)	各種講座の開催や各種研修会への派遣を行い、主体的に行動する講師の育成と支援を継続して取り組みます。 	B	【生涯学習振興課】B ・公民館講座を3講座、6回実施し、南部広域行政組合視聴覚ライブラリーと共催で、プラネタリウム上映会を実施した。	公民館管理運営事業【生涯学習振興課】	12,312,312	無	【生涯学習振興課】 ・今後も様々な年代を対象とした講座を実施し、生涯学習の推進に努める。	生涯学習振興課			
(5)	部活動地域移行を見据え、部活動指導員、外部指導員の人材発掘に努めます。 	B	【学校教育課】B 地域移行に向けて中学校部活の一部に部活動指導員を配置する方向で調整を行い、令和7年度より実施することで結滞した。				【学校教育課】 部活動指導員を配置するとともにその効果を検証する。また、次のステップに向けて調査を行う。	学校教育課			
4. 学びあう環境づくり											
(1)	住民のさまざまなニーズに応えた講座や講演会、シンポジウムなどを開催し、学べる環境づくりに継続して取り組みます。 	B	【生涯学習振興課】B ・公民館講座を3講座、6回実施し、南部広域行政組合視聴覚ライブラリーと共催で、プラネタリウム上映会を実施した。	公民館管理運営事業【生涯学習振興課】	12,312,312	無	【生涯学習振興課】 ・今後も様々な年代を対象とした講座を実施し、生涯学習の推進に努める。	生涯学習振興課			
(2)	コミュニティセンターや公民館、図書館などを生涯学習の拠点として各種講座の充実やサークル活動への支援に継続して取り組みます。 	B	【生涯学習振興課】B ・コミュニティセンター利用団体連絡協議会にて、地震・津波避難訓練や、全体清掃を実施した。				【生涯学習振興課】 ・今後も防災訓練や全体清掃を実施し、サークル間の交流を深めるよう努める。 ・町広報誌等にサークル一覧を掲載し、サークル活動の活性化への支援を行う。	生涯学習振興課			
(3)	幅広い生涯学習を行うために、学生をはじめとしたさまざまな講師の確保と活用に努めます。 	A	【生涯学習振興課】B ・各講座等を実施するにあたり、様々な講師を招いたが、学生を利用した講座等は実施できていない。 【企画政策課】A ・町内2小学校での省エネ教室実施について、沖女学生の活用を検討し、沖女担当者と調整により講師となる学生の確保を行った。	公民館管理運営事業【生涯学習振興課】	12,312,312	無	【生涯学習振興課】 ・若年層の人材確保及び発掘が行えていない。今後は、町内教育機関を中心とした若年層の活用等ができるよう努める。 【企画政策課】 ・省エネ教室の実施に向け沖縄女子短期大学と調整をかさね、学生連携を継続していく。	生涯学習振興課			

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち 施策分野 2－④ 地域交流と支援体制 【総計61ページ】										評価	A
施策の推進			評価							担当課	
			評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性			
					事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無				
(4)	図書館資料・情報の多様な手段による提供を継続して実施するとともに、更なる図書館利用を促進するため、自主企画講座等の充実を図ります。 	B	【生涯学習振興課】B ・新着資料のほか、月毎テーマ設定の資料を印刷,Web等さまざまな手段で展示紹介周知した。また、所蔵する図書館資料と連動するよう上映会、おはなし会、夏休み講座等を開催した。とくに児童関連団体の利用促進に努めた。	図書館事務運営事業【生涯学習振興課】	21,062,870	無	【生涯学習振興課】 今後も様々な世代の利用者へ図書館資料・情報をさらに多様な方法で提供できるよう利用の活性化と企画の展開に励みます。	生涯学習振興課			
(5)	子どもの読書支援、調査、研究支援など、町民の学びに幅広く役立つ図書館サービスを継続的に展開するとともに、多様な世代の利用促進を図るため、更なるレファレンスサービス※18等の向上に努めます。 	B	【生涯学習振興課】B ・一般書、児童書とも各分類の資料収集、充実に努め、利用者の問合せに、相互貸借を含む予約・リクエストサービスを活用、対応した。年間を通して司書による定例おはなし会を実施し、子どもの読書推進と支援に務めた。	図書館事務運営事業【生涯学習振興課】	21,062,870	無	【生涯学習振興課】 今後も読書支援をはじめ、町民の学びに幅広く対応するよう資料の充実にを図り、多様な図書館サービスを展開提供できるように努めます。	生涯学習振興課			
5. 町民ホールの利活用による交流拠点づくり											
(1)	町民の交流拠点として整備された上の森かなちホールについては、町の交流拠点として積極的に利活用されるよう、適切な維持管理に努めるとともに、利用しやすく親しまれる施設づくりに努めます。 	A	【生涯学習振興課】A ・新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いて、近年は自主公演及び貸館業務としても稼働率は年々増加している。各種イベントの開催や講演会、会議等にも利用される機会も多くなり町内外からの認知も増えてきたことで、多種多様な交流の拠点としての役割を担う施設となっている。	町民ホール管理運営事業【生涯学習振興課】	8,212,440	無	【生涯学習振興課】 ・さらなる交流起点としての活用を模索し、自主事業も含めた稼働率の向上に努めます。 ・現在まで実施されたイベントやジャンルとは異なる使用目的をもって利用されることを推進し、より多種多様なジャンルの催し物を実施することでよりいっそうの幅広い世代の交流の場となるよう努めます。	公共施設課 ↓修正 生涯学習振興課			

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 2 「いちゃりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2-⑤ 心と体を育むスポーツ環境づくり 【総計65ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課		
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性			
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無				
1. スポーツ・レクリエーションの充実										
(1)	住民の健康増進としての生涯スポーツを推進する上で、継続的に多様な分野に取り組むとともに、関係機関と連携を図ります。 	A	【生涯学習振興課】A ・町スポーツ推進委員会を中心に各委員の専門分野を活かした講座や軽スポーツ体験学習の講師として人材派遣を行った	保健体育事務運営事業【生涯学習振興課】	8,096,031	有	【生涯学習振興課】 ・継続的に多様な分野に取り組み、各種関連団体と連携を図る。	生涯学習振興課		
(2)	スポーツ推進委員会が中心となり、住民の誰もが気軽に参加できるように各種教室やスポーツ大会の企画・運営を支援します。 	A	【ブランド推進課】A 令和6年度に地域活性化イベント（マルシェ）と同時開催したスポーツフェスタでは、与那古浜公園や観光交流施設を活用し、子供を対象とした陸上競技の大会や多種多様なスポーツを体験できるブースを設置し、スポーツへの興味関心を醸成を通し、スポーツに関する人材育成に貢献しました。 【生涯学習振興課】A ・おきなわスポーツフェスタinよなばる実行委員会が主催するイベント当日に町スポーツ推進委員会主催の体力測定会を開催した。	地域活性化イベント【ブランド推進課】	6,424,303	無	【ブランド推進課】 令和7年度以降も引き続きスポーツ関連のイベントを通じ、人材育成を図ります。 【生涯学習振興課】 継続して体力測定会を実施し、参加者数を増やしていくため周知方法を工夫していく。	生涯学習振興課 ブランド推進課		
(3)	町スポーツ推進委員会に対し各種研修の受講を促進し、さまざまなスポーツ・レクリエーションに対応できる指導者の育成に努めます。 	A	【生涯学習振興課】A ・町スポーツ推進委員会に研修受講を促し、昨年度は初任者研修の未受講者3名について受講を行った。また南部地区や沖縄県の開催する研究大会へも委員派遣を行っている。	保健体育事務運営事業【生涯学習振興課】	8,096,031	有			【生涯学習振興課】 ・引き続き積極的な研修受講を促し、指導者の育成に努める。	生涯学習振興課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2-⑤ 心と体を育むスポーツ環境づくり 【総計65ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
2. スポーツ施設の活用・充実								
(1)	学校体育施設の一般開放を積極的に推進し、多くの町民が利用できるようスムーズな開放体制と管理に努めます。 	A	【生涯学習振興課】A 学校教育に支障のない範囲において施設を開放し、スポーツ少年団、一般団体への貸し出しを行った。	保健体育事務運営事業【生涯学習振興課】	8,096,031	有	【生涯学習振興課】 引き続き、多くの町民が利用できるよう、スムーズな開放体制・管理に努める。	生涯学習振興課
(2)	利用者が気持ちよく利用できるよう、継続的に社会体育施設の環境整備をします。 	A	【生涯学習振興課】A ・観光交流施設については指定管理者と連携を図り、自主事業の実施数の増加や施設の稼働率工場を目標に運営を行った。 ・各社会体育施設についても清掃委託者と連携を取り、利用しやすい環境整備に努めた。	保健体育事務運営事業【生涯学習振興課】 観光交流施設維持管理事業【生涯学習振興課】	8,096,031 16,148,552	有 有	【生涯学習振興課】 引き続き、利用者が気持ちよく使える環境を維持するよう施設管理を行っていく。	生涯学習振興課
(3)	各種スポーツ活動を行うことができるよう、施設及び環境整備に関して各利用団体からの要望に可能な限り対応に努めます。 	A	【生涯学習振興課】A 各体育施設の環境整備について主管課だけでなく関係課と連携を図り、施設の環境整備に努めた。	保健体育事務運営事業【生涯学習振興課】	8,096,031	有	【生涯学習振興課】 各利用団体からの要望にできる限り対応できるよう、現状確認から修繕までスピード感をもって対応する。	生涯学習振興課
(4)	まちのスポーツ関連施設を活用し、スポーツ合宿等を推進することで、スポーツを通じた人材育成と、新たな産業の創出を図ります。【新規施策】 	A	【ブランド推進課】A 令和6年度に地域活性化イベント（マルシェ）と同時開催したスポーツフェスタでは、与那古浜公園や観光交流施設を活用し、子供を対象とした陸上競技の大会や多種多様なスポーツを体験できるブースを設置し、スポーツへの興味関心を醸成を通し、スポーツに関する人材育成に貢献しました。 【生涯学習振興課】A 令和7年度の事業実施に向け、他市町村で同種業務を行っている市町村及び、受託経験のある事業者へのヒアリングを行い、事業構築の検討を行った。	地域活性化イベント【ブランド推進課】	6,424,303	無	【ブランド推進課】 令和7年度以降も引き続きスポーツ関連のイベントを通じ、人材育成を図ります。 【生涯学習振興課】 スポーツツーリズム構築委託業務の発注により、与那原町でのスポーツ合宿の定例化及び人材育成を図る	生涯学習振興課 ブランド推進課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 2 「いちやりばちょーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち
施策分野 2－⑥ 文化の保全・継承 【総計67ページ】

評価
A

施策の推進		評価					担当課	
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業				次年度以降の方向性
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
1. 伝統文化の継承・発展								
(1)	ホームページや広報紙などを活用し、歴史・文化資料の収集を呼びかけ、収集した資料を活かしながら、毎年、内容を刷新した企画展などを開催します。 	A	【生涯学習振興課】A ・町内の戦争と平和についての企画展を実施した。 ・小学校児童に平和学習を行った（企画展の説明と町内ボランティア団体による読み聞かせ）。	町史編纂事業【生涯学習振興課】	13,246,365	有	【生涯学習振興課】 ・継続して平和企画展を実施し、これと連動した平和学習を行う。	生涯学習振興課
(2)	子どもたちに地域の伝統行事や与那原大綱曳への積極的な参加を継続して促します。 	B	【生涯学習振興課】B ・町内の保育園、幼稚園、小学校の体験学習（綱づくり体験や旗頭持ち体験など綱曳に関する様々な体験）を受け入れた。 ・大綱曳の臨場感を体験できる3Dシアターを設置した。	綱曳資料館管理運営事業費【生涯学習振興課】	6,891,000	有	【生涯学習振興課】 ・継続して町内の保育園、幼稚園、小学校の体験学習の受け入れを行う。	生涯学習振興課
(3)	町文化協会と連携し、文化フェスティバルの開催や公民館まつり、生涯学習振興大会などを通して、文化に対する町民意識の向上を図るため、舞台部門や展示部門を含めた運用の在り方の検討を行うとともに、新たな人材の発掘に努めます。 	A	【生涯学習振興課】A ・町文化協会が主催する文化祭の後援（会当日の運営など）を行った。	社会協事務運営事業【生涯学習振興課】	42,679	有	【生涯学習振興課】 ・継続して町文化協会と連携し、文化に対する町民意識の向上を図るための催事の内容の検討、人材の発掘に努める。	生涯学習振興課
(4)	継続的に「島くとうば」の講師及び担い手の発掘と育成を図り、沖縄の伝統的な言葉である「島くとうば」の継承に努めます。 	A	【生涯学習振興課】A ・沖縄県しまくとうば普及功労者に表彰された。 ・兄弟小節大会を実施。 ・町内小学校のうちなーぐちクラブでは、うちなーぐちラジオ体操などを通して楽しく「島くとうば」を学び、継承に努めている。	社会教育事務運営事業【生涯学習振興課】	100,000	有	【生涯学習振興課】 ・引き続き、「島くとうば」の講師及び担い手の発掘と育成を図り、継承に尽力する。	生涯学習振興課
2. 文化財の調査・登録・保護・啓発								
(1)	町内に存在する歴史的価値のある資源や戦跡などの調査を随時行い、文化財登録やその保護に努め文化財を活かしたまちづくりを推進します。 	A	【生涯学習振興課】A ・町史編纂事業の一環で、町内の芸能の歴史に関する調査（聞き取り調査、古写真収集）を行った。	町史編纂事業【生涯学習振興課】	13,246,365	有	【生涯学習振興課】 ・次年度から行う町史編纂事業の一環で、部会を結成し町内の戦後に関する資料収集を始める。 ・板良敷のトーチカなど未指定の文化財について登録を含めた今後の保存活用のあり方について文化財保護審議会などで協議する。	生涯学習振興課
(2)	これまで、町内外の文化財について住民が学ぶ機会を設け、歴史と文化に対する町民意識の向上を図ってきましたが、継続して文化財を次世代へ残すための基盤づくりを行います。 	B	【生涯学習振興課】B ・小学校の地域学習の一環で与那原町の自然や歴史、文化についての講演を行った。 ・広報誌にて町史編纂事業（町の民俗・芸能）の周知のため町内の民俗・芸能についての連載を行った。	町史編纂事業【生涯学習振興課】	13,246,365	有	【生涯学習振興課】 ・継続して小中学校の地域学習を受け入れて、依頼内容に応じた講演を行う。 ・継続して広報誌で町史編纂事業の過程で収集したものや話について掲載する。	生涯学習振興課

基本目標 3 笑顔あふれるやさしいまち 施策分野 3-① 子育て環境づくり 【総計72ページ】								評価	A
施策の推進		評価							担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 子ども福祉の充実									
(1)	与那原町子ども・子育て支援事業計画に基づき、基本的な考え方や教育・保育施設の質の向上などに取り組みます。 5 達成しきょう	A	【子育て支援課】A ・第3期与那原町子ども・子育て支援事業計画の策定し、令和7年度から令和11年度の教育・保育提供体制及び地域子ども・子育て支援事業の確保方策を明確にし、施策の充実を図った。	児童福祉事務運営事業（子ども・子育て支援事業計画策定委託料）【子育て支援	3,696,000	無	【子育て支援課】 ・第3期与那原町子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを令和9年度に実施する。	子育て支援課	
			阿知利保育所運営事業【子育て支援課】	12,282,654	有				
			与那原幼稚園運営事業【子育て支援課】	5,907,514	有				
2. 子育て支援サービスの充実									
(1)	すべての子どもに寄り添ったきめ細やかなサービスが提供できるよう、子育てに関する出張相談会の実施等により子育て支援制度の周知及び利用支援を行い、子育て世帯の支援充実に努めます。 5 達成しきょう	A	【子育て支援課】A ・利用者支援員の配置し、保護者へ子育て支援制度の周知及び利用支援を行った。	利用者支援事業【子育て支援課】	6,056,249	有	【子育て支援課】 ・継続して利用者支援員を配置し、子育てに関する出張相談会を年4回開催する。	子育て支援課	
(2)	各種補助金の活用等を行いながら、良好な環境で保育サービスを提供します。 5 シェンダール事業も実施しよう	A	【子育て支援課】A ・保育園への運営費を毎月遅滞なく支払うことで、適切な保育運営ができています。 ・未移行幼稚園、認可外保育園などを利用する3～5歳児の利用料無償化及び0～2歳の非課税世帯の認可外施設の利用料無料化を実施した。 ・法人保育所運営に係る、財政的支援を行うことで保育士の離職防止や安定的保育運営を図った。	施設型給付事業【子育て支援課】	1,025,153,635	有	【子育て支援課】 ・継続して給付事業を行う。	子育て支援課	
				地域型保育給付事業【子育て支援課】	243,161,920	有			
				子育てのための施設等利用給付事業【子育て支援課】	23,818,209	有			
				法人保育補助事業【子育て支援課】	34,713,800	有			
(3)	継続して各保育所や幼稚園における特別支援コーディネーター及び心理士の巡回等を実施し、特別な配慮を必要とする児童や保育所等の支援を行います。 5 達成しきょう	A	【子育て支援課】A ・幼稚園に特別支援保育支援員を配置し、日常生活のサポートや就学に向けての適切な指導及び特別支援コーディネーター等による巡回相談を行い特別な配慮を必要とする児童や幼稚園等の支援を行った。	きめ細やかな児童生徒支援事業【子育て支援課】	25,348,117	有	【子育て支援課】 ・継続して特別支援保育支援員と特別支援コーディネーターを配置する。	子育て支援課	
(4)	地域自立支援協議会の子ども支援部会等からのニーズを踏まえ、児童発達支援センターなどの専門施設の必要性や療育支援体制の構築について検討します。 5 シェンダール事業も実施しよう	B	【福祉課】B ・平成24年の法改正により障害児を対象とした施設・事業は児童福祉法に根拠が一本化されると同時に障害児支援の強化を図るため、障害種別ごとの施設体系を、通所・入所の利用形態別に改め、通所支援の主体を市町村とされたところである。 ・身近な地域の障害児支援の専門施設(事業)として必要性・要望があることから、児童発達支援(療育)センターの整備を検討することとし、福祉課において「障害児福祉計画」で位置付けることを子育て支援課と確認した。				【福祉課】 ・第3期障害児福祉計画（計画期間：R6～R8年度）策定。計画の中で児童発達支援センターについて、具体的取り組みを検討する。	福祉課 子育て支援課	

基本目標 3 笑顔あふれるやさしいまち 施策分野 3－① 子育て環境づくり 【総計72ページ】								評価	A
施策の推進			評価						
			評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	担当課
					事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
(5)	関係課と連携しながら、児童館等の地域の遊び場において子どもたちに健全な遊びを提供し、心身の健やかな育成を図ります。 	A	【子育て支援課】A ・18歳未満のすべての子どもを対象に遊びを通した育成と生活習慣の指導、地域における子育て支援を行うことによる健全育成を図る児童館の運営を行った。	児童館運営事業【子育て支援課】	14,726,601	有	【子育て支援課】 ・継続して児童館の運営を行う。	子育て支援課	
				あかぎ児童館運営事業【子育て支援課】	864,529	有			
				海風児童館運営事業【子育て支援課】	1,914,717	有			
(6)	これまで、放課後などの児童対策強化として学童クラブを増設し、学童クラブ待機児童が解消されてきたことから、今後は公設学童クラブを設置し、潜在的待機児童の解消に努めます。 	A	【子育て支援課】A ・共働き家庭の児童に対し、放課後や長期休業中の安全・安心に過ごせる場となる学童クラブの運営費を助成した。	放課後児童対策事業【子育て支援課】	123,173,400	有	【子育て支援課】 ・継続して学童クラブへの運営費の交付や学童クラブの増設について検討する。	子育て支援課	
3. 子どもの貧困対策、虐待防止									
(1)	貧困家庭における子育て、教育環境の向上を図るため、継続して居場所における生活支援、学習支援などを行い、各支援へつなげることで自立をサポートします。 	A	【子育て支援課】A ・子どもの居場所を運営する事業者3か所に運営費補助金を交付し子どもの食事の提供、生活指導、学習支援などの支援を行った。 ・児童自立支援員2人を配置し、子どもの居場所等を巡回して適切な制度への繋がりをサポートした。	子どもの貧困緊急対策事業【子育て支援課】	13,300,677	有	【子育て支援課】 ・地域体験活動等の連携事業を実施する。	子育て支援課	
(2)	支援対象児童の見守りを継続して実施することで、子どもへの虐待を防止し、健全な家庭環境づくりの支援に努めます。 	A	【子育て支援課】A ・子どもあんしんネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置し、虐待の早期発見から切れ目ない支援ができる体制を構築している。 ・支援対象児童の見守りを行う事業を社会福祉協議会へ委託した。	要保護児童対策地域協議会運営事業【子育て支援課】	10,688,757	有	【子育て支援課】 ・継続して要保護児童対策協議会を定期的に開催する。 ・社会福祉協議会の特性を活かし、支援対象児童の見守りを継続する。	子育て支援課	
				子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業【子育て支援課】	5,221,166	無			
4. ひとり親家庭の支援									
(1)	医療費助成の継続実施や様々なひとり親支援策の周知徹底を図り、母子・父子家庭などのひとり親世帯の生活安定と自立に向けた支援を行います。 	A	【子育て支援課】A ・ひとり親家庭を対象とした様々な支援策の周知に努めた。 ・医療費助成事業を実施し、ひとり親の経済的負担軽減に務めた。	母子父子医療費助成事業【子育て支援課】	8,049,606	有	【子育て支援課】 ・支援策について周知を充実させるため、広報紙や町公式LINEを活用する。 ・継続して医療費助成を実施する。	子育て支援課	
				ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業【子育て支援課】	2,868,000	有			

基本目標 3 笑顔あふれるやさしいまち
施策分野 3-② 地域福祉・生活困窮者福祉 【総計75ページ】

評価 A

施策の推進		評価					次年度以降の方向性	担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業				
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 福祉活動の周知								
(1)	民生委員・児童委員の活動内容を始めとする福祉活動の積極的な周知活動を行い、町民に広くその重要性を伝え、福祉意識の向上を図るとともに、福祉活動を行う各種団体に補助金等を交付するなど継続的な活動支援を行います。 3 すべての人に健康と福祉を 10 人口増加のペースをなくそう	A	【福祉課】 A ・社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保護司、更生保護女性会等福祉活動を行う団体に補助金等を交付し活動支援を行った。 ・民生委員人員確保に向けて、広報誌や区長会等での周知を行った。 ・年金制度の周知に努め、申請者への支援を行った。	社会福祉事務運営事業【福祉課】	48,024,000	有	【福祉課】 ・広報誌、町公式ライン等により福祉活動について周知する。 ・国民年金制度の周知及び手続支援を行う。	福祉課
				国民年金取扱事業【福祉課】	5,141,707	有		
(2)	行政で把握できない部分などについては地域全体で支えあうことが重要であることから、地域支援コーディネーターの継続的な活用等により地域との連携強化を図るとともに、区単位での勉強会、各種支援の享受など町民同士が話しあう機会の創出に努めます。 3 すべての人に健康と福祉を 10 人口増加のペースをなくそう	A	【福祉課】 A ・地域コーディネーターを社協委託により設置し、地域との情報共有等に努めた。	地域支援事業（社会保障充実分）【福祉課】	7,431,000	有	【福祉課】 ・地域支援コーディネーターによる地域との連携強化を図る。	福祉課
2. 福祉人材の育成・支援								
(1)	民生委員・児童委員など次世代を担う人材の確保や育成、各種関係団体への支援などを行い、福祉行政の取り巻く環境の情報共有を継続的に実施します。 3 すべての人に健康と福祉を 10 人口増加のペースをなくそう	A	【福祉課】 A ・各種団体等への補助を行い人材育成に努め、社会福祉協議会と定例会議を行い、民生委員・児童委員協議会の定例会、勉強会にも出席し、現在の福祉行政を取り巻く環境の情報共有に努めた。	社会福祉事務運営事業【福祉課】	48,024,000	有	【福祉課】 ・各種団体へ補助を行い、支援する	福祉課
(2)	与那原町社会福祉協議会で実施している「おまかせ会員制度」やシルバー活き生きライフサポートの実施を継続するとともに制度の周知強化に努めます。 3 すべての人に健康と福祉を 10 人口増加のペースをなくそう	A	【福祉課】 A ・制度周知に努めた結果、お任せ会員、任せて会員ともに増加している。 ・シルバー活き生きライフサポート事業を実施し、ボランティア人材育成に取り組んだ。	社会福祉事務運営事【福祉課】	44,785,000	有	【福祉課】 ・与那原町社会福祉協議会との連携強化を図り、継続して周知を図る。 ・シルバー活き生きライフサポート事業を実施し、ボランティア人材育成に取り組む。	福祉課
				シルバー活き生きライフサポート事業【福祉課】	4,602,071	有		
3. 各種制度の周知								
(1)	「福祉のしおり」を積極的に活用し、困窮時における制度の周知を含めた相談体制の整備を継続的に取り組みます。 1 生活困窮者に対する支援 10 人口増加のペースをなくそう	A	【福祉課】 A ・生活保護のしおりを窓口設置し、制度周知に努めた。	社会福祉事務運営事業【福祉課】	0	有	【福祉課】 ・制度等の周知に継続的に取り組み、より図られるよう、設置場所の工夫等に努める。	福祉課
(2)	生活困窮者への包括的な支援を行うため、継続的に与那原町社会福祉協議会やハローワークなどの関係機関との連携強化に努めます。 1 生活困窮者に対する支援 10 人口増加のペースをなくそう	A	【福祉課】 A ・社協との定例連絡会等により、連携を深めた。また、生活保護申請についても適切に対応し、南部福祉事務所に進達した。	社会福祉事務運営事業【福祉課】	0	有	【福祉課】 ・生活困窮者への包括的な支援を行うため、関係機関との連携強化を図る。	福祉課

基本目標 3 笑顔あふれるやさしいまち
施策分野 3－③ 障がい者（児）福祉 【総計78ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 社会参加と交流の場づくり								
(1)	障がい者（児）スポーツなど、町内において障がい者（児）参加型のイベントを実施するなど、継続して障がいへの理解と交流を促進するとともに、実証実験事業中の町内バスの本格運用に向けた検討を進めます。 	A	【福祉課】 A ・身体障害者スポーツ大会への参加、交流センターひざしにおける各種クラブ活動などを通し理解と交流を促進した。 ・ミックススポーツを新規に開始し、運動機会の確保を図った。	交流センター（ひざし）運営事業【福祉課】	6,843,827	有	【福祉課】 ・身体障害者スポーツ大会へ参加する。 ・ひざしにおける各種クラブ活動を行う。 ・ミックススポーツ事業を行う。	福祉課
				地域生活支援事業（障害）【福祉課】	200,000	有		
(2)	障がい者（児）などが安心して生活できる地域社会をつくることを目指すノーマライゼーションの理念のもと、町内障がい福祉サービス事業所の作品展示会の実施など障がいのある人に対する理解の促進に継続して取り組みます。 	A	【福祉課】 A ・交流センターひざしの諸活動、庁舎における就労事業所作成物品販売会を通し理解促進に努めた。	交流センター（ひざし）運営事業【福祉課】	6,843,827	有	【福祉課】 ・福祉まつりの内容を検討し、町及び事業所等が必要とするまつりを開催する。 ・障害者（児）の社会参加のため介護・訓練等給付事業を支給決定する。	福祉課
				自立支援給付事業【福祉課】	1,076,572,375	有		
2. 地域で支える仕組みづくり								
(1)	障がい者（児）等が地域で快適な生活を送ることができるよう施設のバリアフリー化や移動手段の確保など、環境整備に取り組むとともに、課題の解決に継続的に取り組みます。 	A	【福祉課】 A ・障がい者の外出を促進し、交流が活性化するよう町内バス実証実験を行った。 ・コースの見直しを行い、次年度よりバス停の箇所を増やした。 ・次年度より対象者として妊産婦を追加した。	新しい公共交通検討事業【福祉課】	10,847,328	有	【福祉課】 ・障がい者の外出を促進し、交流が活性化するよう町内バス実証実験を継続する。 ・乗客のニーズを把握し、より適した運行を行っていく。	福祉課
(2)	地域社会で障がい者（児）の生活などを支えるNPO団体などの設立により、気軽に相談できる体制の構築及び障がい者（児）の支援の把握等に努めます。 	A	【福祉課】 A ・相談事業所設立等の相談に応じ、環境整備に努めた。	心身障害者福祉事務運営事業【福祉課】	2,467,343	有	【福祉課】 ・相談対応を継続して実施するとともに、事業所立ち上げに有益な情報提供等を行う。	福祉課
(3)	多様化する特別な支援を必要とする子どもの支援に対応するため、町内の各保育所や幼稚園、学校における心理士・作業療法士などの専門員の確保に努めるとともに、障がい児に対する支援に関する新たな知見等の習得やその保護者のケア充実を図ります。 	A	【学校教育課】 A ・特別支援教育コーディネーターを派遣し、障がい児に対する支援方法のアドバイスを行った。 ・学校教育課の臨床心理士が、特性のある幼児児童生徒の心理検査を実施し、保護者へのフィードバックとともに、学校での支援体制についてアドバイスを行った。	事務局運営事業【学校教育課】	0	有	【学校教育課】 ・臨床心理士や特別支援教育コーディネーターを活用し、障がい児に対する支援の充実や保護者のケアの充実を図る。	学校教育課
3. 障がい者（児）を経済的に支える仕組みづくり								
(1)	医療費助成、更生医療、育成医療など医療費に係る経済的負担を軽減し、障害年金や手当などの周知徹底を図ります。 	A	【福祉課】 A ・該当者に制度周知を行うとともに、重度心身障害者医療費助成については自動償還払いを導入し、姿勢負担軽減を図った。	自立支援給付事業【福祉課】	1,076,572,375	有	【福祉課】 ・引き続き、制度周知を行うとともに対象となりそうな方への個別の情報提供を行う。	福祉課
				重心医療費助成事業【福祉課】	27,240,756	有		

基本目標 3 笑顔あふれるやさしいまち
施策分野 3－④ 高齢者福祉 【総計81ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 高齢者の生きがいがづくり								
(1)	高齢者が生き生きと地域で暮らすことができるよう、地域支援コーディネーター等の関係機関と連携して、引き続き高齢者が幅広い世代と交流できるような機会づくりと環境整備に努めます。 3すべての人に健康と福祉を 10人口100人当たりの高齢者の生活支援を充実させる	A	【福祉課】A ・地域コーディネーターを与那原町社会福祉協議会委託により設置し、地域との情報共有等に努めた。 ・町老人クラブ、適正老人クラブへの補助を行い活性化を図った。 ・高齢者の外出を促進し、交流が活性化するよう町内バス実証実験を行った。	地域支援事業（社会保障充実分）【福祉課】	13,102,341	有	【福祉課】 ・地域支援コーディネーターによる地域との連携強化を図る。 ・町老人クラブ等へ補助を行い活性化を図る。 ・高齢者の外出を促進し、交流が活性化するよう町内バス実証実験を継続する。	福祉課
(2)	各公民館で実施しているミニデイを継続するとともに、老人クラブ加入者を増加させるため、補助等による継続的な取り組みの強化や呼びかけなど周知徹底に努めます。 3すべての人に健康と福祉を 10人口100人当たりの高齢者の生活支援を充実させる	A	【福祉課】A ・与那原町社会福祉協議会を通してミニデイを支援し、充実に努めた。 ・町老人クラブ、適正老人クラブへの補助を行い活性化を図った。	地域支援事業（総合事業）【福祉課】	28,294,865	有	【福祉課】 ・継続的なミニデイ支援を行うとともに内容が充実するよう関係者間の情報交換等を促す。 ・町老人クラブ、適正老人クラブへの補助を行い活性化を図る。	福祉課
2. 介護予防等事業の取り組み								
(1)	心身機能の状態を把握し、個々の状態に合わせて心身機能の維持・改善に継続的に取り組み、要介護状態への移行や重度化の抑制を図るなど、介護予防等事業を推進します。 3すべての人に健康と福祉を 10人口100人当たりの高齢者の生活支援を充実させる	A	【福祉課】A ・包括任意事業としてシルバーハウジング安心確保事業、配食サービス、緊急通報サービス等を実施した。 ・総合事業として元気アップ教室、パワーアップ教室、ボウリング教室、ふれあいサロン等を実施した。	地域支援事業（包括・任意）【福祉課】	40,857,686	有	【福祉課】 ・元気アップ教室、パワーアップ教室、ボウリング教室、ふれあいサロン等の実施を通し介護予防及び生きがいがづくりにつながるよう事業を実施する。	福祉課
3. 高齢者を支える仕組みづくり								
(1)	増加傾向にある認知症に関する知識の普及と情報共有を図るとともに、地域や認知症サポーターなどとの連携強化による見守り体制を推進し、認知症高齢者などを支える仕組みづくりに取り組みます。 3すべての人に健康と福祉を 10人口100人当たりの高齢者の生活支援を充実させる	A	【福祉課】A ・地域コーディネーターを与那原町社会福祉協議会委託により設置し、地域との情報共有等に努めた。 ・認知症地域支援推進員を配置し、認知症サポーター養成講座や認知症カフェを実施し、普及啓発に努めた。 ・個別具体的な相談に応じ、認知症のある方に支援を行った。 ・在宅医療介護連携事業を実施し、在宅介護の充実を図った。	地域支援事業（社会保障充実分）【福祉課】	13,102,341	有	【福祉課】 ・地域支援コーディネーターによる地域との連携強化を図る。 ・認知症サポーター養成講座を実施する。 ・認知症カフェを実施する。 ・在宅医療介護連携事業を実施し、在宅介護の充実を図る。	福祉課
(2)	支援が必要な高齢者に対し、買い物支援などの適切なサービス提供が行えるよう、シルバー生き生きライフサポート事業等の継続など地域で高齢者を支える各種取り組みに努めます。 3すべての人に健康と福祉を 10人口100人当たりの高齢者の生活支援を充実させる	A	【福祉課】A ・シルバー生き生きライフサポート事業を通し、高齢者の買い物同行支援や樹木の伐採等を行った。 ・高齢者の外出を促進し、買い物等がしやすくなるよう町内バス実証実験を行った。	シルバー生き生きライフサポート事業【福祉課】	4,602,071	有	【福祉課】 ・シルバー生き生きライフサポート事業による継続した高齢者支援を行う。 ・高齢者の外出を促進し、買い物がしやすくなるよう町内バス実証実験を継続します。	福祉課

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち
施策分野 4－① 市街地の整備・活用 【総計84ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 魅力ある新たな都市空間の創出								
(1)	大型MICE施設と関連した新たな賑わいを目指したまちづくりを推進します。 	A	【まちづくり課】A ・沖縄県MICE推進課及び西原町と3者で大型MICE施設受入環境整備の1つである都市計画（用途地域・地区計画）の変更に向けて協議を重ね、素案を作成した。				【まちづくり課】 ・引き続き、沖縄県と西原町と足並みを揃えて都市計画変更（広域調整）に向けて協議を進めていく。	まちづくり課 企画政策課
(2)	都市再生整備計画の完了などを受け、引き続きコンパクトで魅力ある市街地の形成を図ります。 	A	【まちづくり課】A ・都市再生整備計画の完了後、国交省へ事後評価の報告を行い、公益財団法人都市計画協会が発行する「新都市」という雑誌へ与那原町の都市再生整備計画の内容が掲載された。				【まちづくり課】 ・完了済み	まちづくり課
(3)	土地の有効活用の可能性を模索し、市街地再開発に向けた取り組みを推進します。 	A	【まちづくり課】A ・与那原町都市計画マスタープランで「市街化拡大検討地区」に位置付けられている町道上与那原前の井線周辺について、市街化の可能性を調査を行い、基本構想を作成した。	与那原町まちづくり事業可能性調査【まちづくり課】	14,894,000	有	【まちづくり課】 ・仮同意書の取得を行い、都市計画変更に向けて具体的な意向整理を実施していく。	まちづくり課
2. 水辺空間の魅力向上								
(1)	水路や水辺については、町道与原19号線の整備に引き続き、美化運動等の取り組みを進め、町民の憩いの場の提供や観光振興にも資する水辺空間としての魅力向上を図ります。 	A	【まちづくり課】A ・町内の美化緑化を推進するルートとして水路沿いの草刈り、清掃等を実施した。 ・世持橋～ゆめなり橋にかけての水路沿いの清掃作業を与那原区の団体に委託して実施した。	美化・緑化きれいなまちづくり事業【まちづくり課】	48,658,006	有	【まちづくり課】 ・引き続き対象ルートの草刈り、清掃等を実施し、水辺空間としての魅力向上に取り組む。	まちづくり課
			海岸水路清掃作業業務委託【まちづくり課】	120,000	無			

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち
施策分野 4－② 道路環境の整備 【総計86ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 道路ネットワークの構築								
(1)	与那原バイパスの暫定供用により、与那原交差点における交通渋滞が一部解消されましたが、大型MICE施設の交通需要に対応するため、国や県、周辺自治体の関係機関との調整や協議などを通じて広域道路ネットワークの推進を引き続き図ります。	A	【まちづくり課】A ・関係市町と連携を図り、県へ道路整備（ゆめなり線、県道糸満与那原 B P）を要請した。 ・与那原バイパス早期の 4 車線開通に向けて、国へ要請した。 【企画政策課】A ・国や県等と連携した与那原町交通施策検討協議会を開催し、大型MICEの現状について共有をした。	交通戦略委員報酬	40,000	有	【まちづくり課】 ・県道糸満与那原 B P 整備について関係市町と連携しながら、県とルート案や事業スケジュールなどについて協議を行う。 ・与那原バイパスについては、引き続き 4 車線完全供用に向けて要請を実施する。 【企画政策課】 ・県の動向を見据え具体的な対策の検討に向け協議会を継続する。	企画政策課 まちづくり課
2. 安全で快適な道路環境の整備								
(1)	歩行しやすい環境や自転車利用の促進に向けて、自転車ネットワーク等の計画を推進し、継続して誰もが利用しやすく安全で快適な歩行・道路環境の整備に取り組みます。	A	【まちづくり課】A ・上与那原前の井線は用地及び物件補償を行った。 ・与原19号線は用地補償を行い、一部工事を行った。 ・伊武田 4 号線は物件補償費算定業務委託の発注を行った。 【企画政策課】A ・町民の新たな移動手段の確保を目指しシェアサイクル導入の実証実験を開始した。	上与那原前の井線道路改良事業【まちづくり課】	10,107,941	有	【まちづくり課】 ・各種道路の早期供用開始へ向けて取組む。 ・上与那原前の井線は、用地補償と一部工事を実施する。 ・与原19号線は、用地補償と一部工事を実施する。 ・伊武田 4 号線の工事を実施し令和8年度で事業完了予定。 【企画政策課】 ・シェアサイクル導入に向け、実証実験を継続する。	企画政策課 まちづくり課
(2)	道路環境のユニバーサルデザインを推進します。	A	【まちづくり課】A ・危険箇所点検や行政懇談会などでの要望のあがった事案に対して道路のバリアフリー化など、誰でも利用できる道路の整備を実施した。	与原19号線道路整備事業【まちづくり課】	90,920,018	有		
				伊武田 4 号線道路整備事業【まちづくり課】		有		
				東海岸地域サンライズ推進協議会【まちづくり課】		有		
				シェアサイクル導入委託	10,035,636	有		
				道路及び側溝修繕工事【まちづくり課】	6,915,130		【まちづくり課】 ・新規採択予定の路線も歩行者にやさしい設計を推進し、誰もが利用しやすい道路環境整備に取組む。	まちづくり課
3. 計画的な維持管理と長寿命化の推進								
(1)	道路及び橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理に努め、道路施設※21の長寿命化に取り組みます。	A	【まちづくり課】A ・橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、計画の更新を行った。				【まちづくり課】 ・与那原町長寿命化修繕計画に基づき、定期点検を実施する。	まちづくり課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち
施策分野 4－③ 交通環境の充実 【総計88ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 公共交通の充実								
(1)	バス会社との協議や福祉バスの実証実験等を通じて、継続的に公共交通空白地域の解消や移動が困難な高齢者などの交通弱者にやさしい交通移動の確保に取り組めます。 	A	【福祉課】A ・高齢者等の外出を促進し、交流が活性化するよう町内バス実証実験を行った。 【企画政策課】B ・生活バス路線について補助を行い町民の移動手段の確保を行った。 ・オキカを町役場内で販売し公共交通の利用促進を行った。 ・公共交通空白地域の解消に向けた具体的な施策については未実施 ・町民の新たな移動手段の確保を目指しシェアサイクル導入の実証実験を開始した。	新しい公共交通検討事業【福祉課】	10,847,328	有	【福祉課】 ・町内バスの実証実験については、利用者の利便性が図れるよう改善を行いながら実施していく。 【企画政策課】 ・生活バス路線の維持とオキカ販売による公共交通の推進に取り組む。 ・公共交通空白地域の解消に向け施策の見直しを行う。 ・シェアサイクル導入に向け、実証実験を継続する。	企画政策課 福祉課
(2)	公共交通利用環境の向上に取り組めます。 	A	【企画政策課】A ・オキカを町役場内で販売し公共交通の利用促進を行った。	公共交通利用促進事業【企画政策課】	19,200	有	【企画政策課】 ・生活バス路線の維持とオキカ販売による公共交通の推進に取り組む。	企画政策課
(3)	大型MICE施設に関連した広域移動の需要を精査し、新たな公共交通だけでなく、パークアンドライドなどのソフト施策などの検討を行います。 	A	【企画政策課】A ・町民の新たな移動手段の確保を目指しシェアサイクル導入の実証実験を開始した。	シェアサイクル導入委託【企画政策課】	10,035,636	有	【企画政策課】 ・シェアサイクル導入に向け、実証実験を継続する。	企画政策課
2. 交通に対する意識改革								
(1)	安全で快適な交通環境の構築に向け、自動車依存体質から脱却するために様々な活動（学習会・シンポジウムなど）を通じて、継続的に交通に対する意識改革に取り組めます。 	A	【企画政策課】A ・小学校を対象としたバス教室を開催した。 ・バスの日企画展を開催した。	交通啓発等委託業務【企画政策課】	260,150	有	【企画政策課】 ・小学校を対象としたバス教室を開催した。 ・バスの日企画展を開催した。	企画政策課
3. 交通関連計画の推進								
(1)	交通の円滑化、魅力あるまちづくりに向けた各種交通政策を総合的、戦略的に展開するため、与那原町総合交通基本計画※26や与那原町地域総合交通戦略※27などの交通関連計画を推進します。 	A	【企画政策課】A ・交通施策検討協議会を開催し交通基本計画及び戦略の進捗状況の確認を行った。	交通戦略検討委員報酬【企画政策課】	40,000	有	【企画政策課】 ・計画的に交通施策を推進していくために交通施策検討協議会を開催し意見をもらう。	企画政策課

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち
施策分野 4-④ 計画的な土地利用の推進 【総計91ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 計画的で安定した土地利用の確保								
(1)	本町の自然的や社会的、経済的や文化的条件などに配慮した将来土地利用の方針を実現するため、与那原町総合計画、与那原町国土利用計画、都市計画マスタープランを統合した土地利用方針・計画を確立し、地域特性を活かした土地利用を推進します。 	A	【企画政策課】A ・土地取引規制事務に関して受付窓口を設置した。	土地利用規制関連事務	0	有	・土地利用規制に関して申請受付を行う	企画政策課
2. 都市計画マスタープランの推進								
(1)	土地利用計画の基本となる、建設に関する基本構想や都市計画区域の整備、開発や保全の方針に即した都市計画マスタープランを推進します。 	A	【まちづくり課】A ・都市計画マスタープランに位置づけのある上与那原の「市街地拡大検討区域」において宅地開発事業の推進を図った。 ・沖縄県が実施する区域区分の見直しに合わせた用途指定の推進を図った。（板良敷沿岸線沿道地区）	与那原町まちづくり事業可能性調査【まちづくり課】	14,894,000	有	【まちづくり課】 ・引き続き、都市計画マスタープランを推進する。	まちづくり課
(2)	地域特性を活かした土地利用の検討を図ります。 	A	【まちづくり課】A ・東浜の公有地活用事業等の推進にあたり、東浜の25番地及び107番地の都市計画（用途地域・地区計画）について変更を行った。	与那原町東浜地区用途地域・地区計画変更業務【まちづくり課】	6,160,000	有	【まちづくり課】 ・引き続き、地域特性を活かした土地利用の推進を図る。	まちづくり課
3. 機能性の高い都市空間の形成								
(1)	前期計画において、市街化区域編入に伴う用途地域の見直しや地区計画（大見武地区計画）の策定などに取り組んでおり、継続して都市計画制度を活用し、機能性の高いまちづくりを推進します。 	A	【まちづくり課】A ・沖縄県が実施する区域区分の見直しに合わせた用途指定の推進を図った。（板良敷沿岸線沿道地区） ・東浜地区及び大見武地区において定められている地区計画について、適切に運用した。				【まちづくり課】 ・引き続き、適切に東浜地区の地区計画の運用をする。 ・引き続き、機能性の高いまちづくりを進めていく。	まちづくり課
4. 地域特性を活かした景観形成								
(1)	本町の魅力的な景観を保全・活用し、まちの魅力向上を図ります。 	A	【まちづくり課】A ・東浜地区計画の見直しにおいては、近隣の低層住宅に配慮し、高さ制限を行い、適切な景観が保全されるような変更を行った。	与那原町東浜地区用途地域・地区計画変更業務【まちづくり課】	6,160,000	有	【まちづくり課】 ・引き続き、景観保全に取り組む。	まちづくり課
(2)	魅力的なまちづくりに資する方針と施策を定めた、与那原町景観計画※32を推進します。 	A	【まちづくり課】A ・町全域にかかっている景観計画を運用し、届出対象となる行為について、緑化率、建物等の色彩など景観に関する調整を行い、申請者に対して適切に指導した。				【まちづくり課】 ・引き続き、適切に景観計画を推進し運用する。	まちづくり課
(3)	市街化調整区域の開発行為については、関連法令や条例などを遵守し、慎重に精査・検討を行います。 	A	【まちづくり課】A ・市街化調整区域の開発行為について、申請内容について関係法令に適合しているか、沖縄県と連携しながら与那原町として慎重に精査・検討し対応した。				【まちづくり課】 ・開発行為について、関係法令等に適合しているか精査する。	まちづくり課

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち 施策分野 4－⑤ 上水道 【総計94ページ】							評価	A
施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
1. 施設の改修整備								
(1)	水道施設情報管理システムを活用し、日常的な保守管理と配水管理を適切に行うとともに老朽化した施設の更新計画に基づき、改修整備を行います。 	A	【上下水道課】A ・適切な保守管理を行い、水道施設の異常による重大事故を未然に防ぎ、常に安定的な水の供給と料金収入を得た。	与那原町水道事業（保守管理・配水管理・改修整備・料金徴収）【上下水道課】	445,083	有	【上下水道課】 ・今後も更新計画に基づき、改修整備と適切な保守管理を行い、常に安定的な水の供給と料金収入を得る。	上下水道課
2. 非常時や災害に備えた整備								
(1)	漏水や停電などの非常時においては、適切な応急措置や迅速な復旧を行える体制を整えたことにより、適切な処置が行われており、引き続き体制の維持を図ります。 	A	【上下水道課】A ・非常時に適切な応急処置や迅速な復旧を行える体制（緊急修理当番）を整えた（休日・夜間時の緊急電話対応や緊急連絡先一覧表の更新）	与那原町水道事業（修理当番委託）【上下水道課】	2,728	有	【上下水道課】 ・今後も非常時には適切な応急処置や迅速な復旧を行える体制を整える。	上下水道課
(2)	地震や台風などの災害に備え、水道施設への被害を最小限に抑えるための耐震化などを進めてきており、引き続き推進していきます。 	A	【上下水道課】A ・浜田地内配水管耐震化工事、与那原第2配水池緊急遮断弁設置工事を行い、災害に強い施設整備を推進した。	与那原町水道事業（耐震化）【上下水道課】	52,515	有	【上下水道課】 ・今後も災害に備え、水道施設への被害を最小限に抑えるため整備を行う。	上下水道課
3. 漏水防止対策								
(1)	漏水調査を定期的に行ったことにより、漏水箇所の早期発見、早期修繕ができたため、引き続き、この体制を堅持し、漏水防止対策に努めます。 	B	【上下水道課】B ・漏水調査を定期的に実施した。 ・漏水発生時に早急な発見を目指し、流量計を設置して配水区域ブロック割りを進めた。 ・非常時に適切な応急処置や迅速な復旧を行える体制を整えた。	与那原町水道事業（漏水防止対策）【上下水道課】	30,019	有	【上下水道課】 ・今後も漏水調査により、漏水箇所の早期発見、早期修繕を実施する。	上下水道課
4. 水質事故の防止								
(1)	水質検査計画※34に基づき、毎日の水質検査を継続し、安心して安全な水道水を提供します。 	A	【上下水道課】A ・毎日の水質検査を継続し、安心して安全な水道水を供給できた。	与那原町水道事業（毎日検査）【上下水道課】	492	有	【上下水道課】 ・今後も毎日の検査を継続し、安心して安全な水道水の提供を行う。	上下水道課
(2)	法令に基づき、定期的に定められた項目の検査を行ったことにより、水質事故の防止につながったため、継続してこの体制を堅持し、事故防止に努めます。 	A	【上下水道課】A ・法令に基づき定められた項目の検査を行い、水質事故防止に努めた。	与那原町水道事業（法令項目検査）【上下水道課】	3,909	有	【上下水道課】 ・今後も法令に基づき、定められた項目の検査を行い水質事故防止を行う。	上下水道課

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち 施策分野 4－⑥ 下水道 【総計97ページ】								評価	A
施策の推進		評価							担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 下水道整備の推進									
(1)	町民が快適に水と親しめる空間を創出できるよう下水道整備を進め、供用区域を拡大したところであるが、引き続き整備を推進し、公共用水域への生活排水の流出を抑え、水質保全に努めます。 	A	【上下水道課】A ・当添地区、板良敷地区において污水管整備を行い整備率向上を図った。 ・污水施設管理計画を策定し適切な施設管理に努めた。	与那原町下水道事業 (下水道整備の推進) 【上下水道課】	641,726	有	【上下水道課】 ・污水管整備を行い整備率向上に努める。 ・適切な污水施設の管理に努める。	上下水道課	
2. 浸水対策									
(1)	頻発する都市型集中豪雨などから町民の生命や財産を守るため、雨水管路の新設などを行っているが、引き続き、下水道整備による浸水対策に努めます。  	A	【上下水道課】A ・上与那原地内雨水函布設工事を行い整備延長の進捗を図った。 ・雨水施設管理計画を策定し適切な施設管理に努めた。	与那原町下水道事業 (浸水対策) 【上下水道課】	86,953	有	【上下水道課】 ・上与那原地内雨水函布設工事を行い整備延長の進捗を図る。 ・適切な雨水施設の管理に努める。	上下水道課	
3. 下水道接続率の向上									
(1)	下水道事業の仕組みや必要性の理解を得るため、下水道啓蒙活動や戸別訪問を継続的に実施し、下水道接続に対する町民への協力を促します。  	A	【上下水道課】A ・下水道接続補助金を29件交付し、接続率向上を図った。 ・下水道の日に庁舎ラウンジにて、マンホール蓋、のぼりの設置、広報誌掲載を行い下水道事業の周知を図った。	与那原町下水道事業（接続補助）【上下水道課】	2,600	有	【上下水道課】 ・補助金を活用した下水道接続促進に努める。 ・9月10日の下水道の日に合わせて周知活動を実施する。	上下水道課	
(2)	継続して下水道接続工事補助金を実施し、接続支援を行うことで、接続率向上を図ります。  	B	【上下水道課】B ・戸別訪問による啓蒙活動を行い、76件/年の新規接続申請を受け、接続率向上を図った。	戸別訪問【上下水道課】	0	有	【上下水道課】 ・新規整備地区や接続率の低い地区を中心に戸別訪問による啓蒙活動を行う。	上下水道課	

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち
施策分野 4－⑦ 公園・緑地の推進 【総計99ページ】

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち 施策分野 4-⑦ 公園・緑地の推進 【総計99ページ】								評価	A
施策の推進		評価						担当課	
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 適正な公園面積の確保や街路樹などの整備									
(1)	適正な公園面積を確保するため、与那公園の区域拡大の都市計画決定に基づき事業の実施を図るとともに、新しい公園などの整備を推進します。 	A	【まちづくり課】A ・与那公園拡大整備事業を推進するため、用地買収・物件補償及び整備工事を実施した。	与那公園整備事業 (R5線・R6当初) 【まちづくり課】	273,783,000	有	【まちづくり課】 ・用地買収及び物件補償 ・整備工事	まちづくり課	
(2)	可能な限り街路樹などの整備を行い、緑豊かなまち並みの形成に取り組みます。 	A	【まちづくり課】A ・観光スポット及び対象ルートを14名の作業員にて環境美化活動を実施した。 ・既存の街路樹や公園の木々について適正な管理に努めた。	美化緑化きれいなまちづくり事業【まちづくり課】	48,658,006	有	【まちづくり課】 ・引き続き、既存の街路樹等を適正に管理し、緑豊かな街並みの形成、観光スポット及び対象ルートの環境美化活動を実施する。	まちづくり課	
2. 賑わいを創出する公園の整備									
(1)	公園施設内への公共還元型収益施設※41として与那古浜公園におけるPark-PFI事業の推進を図ります。 	A	【まちづくり課】A ・与那古浜公園のP-PFI事業について、事業者と協議を行い、工房対象施設及び特定公園施設の内容について調整を行った。 ・上の森公園におけるP-PFI事業の導入可能性に向けて、調査に要する費用確保に向けての調整を行った。さらに、簡易的にコンビニ事業者へ聞き取り調査を実施した。				【まちづくり課】 ・与那古浜公園においては、引き続き事業者と協議を行う。 ・上の森公園においては、P-PFI実施の可能性について調査を進めていく。	まちづくり課	
(2)	公園長寿命化計画に基づき、老朽化した公園の改修やインクルーシブな遊具の導入に取り組むなど、魅力ある公園施設の整備に努めます。 	A	【まちづくり課】A ・公園長寿命化計画の更新を実施し、周辺自治会との調整を行い、遊具の改築更新に向けた設計を行った。	与那原町公園施設改築更新設計業務委託【まちづくり課】	4,582,000	有	【まちづくり課】 ・公園長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具の更新を進めていく。	まちづくり課	

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち
施策分野 4－⑧ 住宅政策 【総計101ページ】

評価
A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 住宅困窮者に対する優先的な入居								
(1)	低額所得者や高齢者、多子世帯などの住宅困窮者に対し、町営住宅への優先的な入居を引き続き図ります。 3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを	A	【公共施設課】A ・8月に町営団地空家待ち入居者募集を行い、申込件数が72件あり、9月に抽選会を実施した。優遇世帯に対し2倍の当選確率にて実施。 ・令和6年度の新規入居者は4件。	町営住宅管理事業【公共施設課】	7,028,511	有	【公共施設課】 ・住宅困窮者に対し、町営住宅への優先的な入居を図る。	公共施設課
(2)	入居・退去時における空き室期間の短縮に努めます。 3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを	A	【公共施設課】A ・入居者が退去後、すみやかに、空家待ち待機者への連絡や手続きを実施。 ・退去時の入居者による修繕業者の選定などにも時間を要するため、修繕業者の紹介を行うなどして空き室期間の短縮に努めた。	町営住宅管理事業【公共施設課】	7,028,511	有	【公共施設課】 ・入居・退去時における空き時間の短縮に努める	公共施設課
2. 計画的な維持管理による長寿命化の推進								
(1)	定期的な保守点検を行い、早期の修繕、設備の更新に努めます。 11 住み続けられるまちづくりを	A	【公共施設課】A ・昇降機や消防設備など定期的な保守点検を行い、更新や異常があった場合には内容を把握した上で、早期の予算措置の協議を実施し、修繕・更新に努めた。 ・入居者からの修繕依頼等についても、適宜対応し住環境の維持に努めた。	町営住宅管理事業【公共施設課】	7,028,511	有	【公共施設課】 ・建物の定期的な保守点検を行い、早期の修繕、更新を行い安心安全な住環境の維持に努める。	公共施設課
(2)	令和2年度に公営住宅等長寿命化計画※42を策定しており、計画に基づき、予防保全的な管理を行い、ライフサイクルコスト（LCC）※43の縮減に努めます。また、必要に応じて公営住宅長寿命化計画の見直しを図ります。 11 住み続けられるまちづくりを	A	【公共施設課】A ・公営住宅長寿命化計画に基づき、町営江口団地の大規模改修工事を令和5年度（CD棟）・令和6年度（AB棟）を完了している。	町営住宅管理事業R5【公共施設課】	64,295,000	有	【公共施設課】 ・公営住宅長寿命化計画に沿った、施設の維持管理に努め、財源的なコスト縮減、町営住宅の長寿命化に努める。 ・次年度においては、令和9年度に予定している阿知利団地の大規模改修工事に向け、令和8年度の設計業務委託の予算計上を行う。	公共施設課
				町営住宅管理事業R6【公共施設課】	71,940,000	有		
3. 地域の活性化や安心・安全で快適な住宅環境の整備								
(1)	住宅リフォーム支援事業補助金により、年間20件程度のリフォーム支援を行っており、引き続き、地域の事業者を活用した住宅リフォームを支援します。 11 住み続けられるまちづくりを	A	【まちづくり課】A ・国・県の補助金を活用し、令和6年度は町内10事業者を活用して、24件の住宅リフォーム補助を実施した。	住宅リフォーム支援事業【まちづくり課】	4,000,000	無	【まちづくり課】 ・県の補助対象経費に合わせる形で町の補助対象経費を変更し、継続して住宅リフォームを支援する。	まちづくり課
(2)	上記の支援事業補助金によりバリアフリー化支援を行っており、継続して、バリアフリーに配慮した住宅環境の整備を推進します。 11 住み続けられるまちづくりを	A	【まちづくり課】A ・国・県の補助金を活用し、令和6年度は町内10事業者を活用して、24件の住宅リフォーム補助を実施した。	住宅リフォーム支援事業【まちづくり課】	4,000,000	無	【まちづくり課】 ・県の補助対象経費に合わせる形で町の補助対象経費を変更し、継続して住宅リフォームを支援する。	まちづくり課

基本目標 4 快適に暮らせる美しいまち
施策分野 4-⑨ 公共施設マネジメント 【総計103ページ】

評価
A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
1. 効率的な施設管理の推進								
(1)	財政支出の平準化による財政負担の軽減や施設の長寿命化を図るため、各施設の更新時期を踏まえた個別施設計画※44を令和2年度、学校施設、公営住宅、令和4年度、建物7分類(18施設)を策定しましたが、今後、継続的に見直しを図ります。	A	【公共施設課】A ・令和4年度の個別施設計画に基づき、与那原町交流センターひざしの大規模改修工事に向けた、設計業務委託を実施。令和7年度予算に工事費を計上。	交流センター(ひざし)運営事業【公共施設課】	2,618,550	有	【公共施設課】 ・公共施設等総合管理計画の改定及び個別施設計画の策定に伴い、各施設管理課と協議し事業計画に沿った改修設計、工事を計画的に行う。 ・与那原町交流センターひざし大規模改修工事の実施。 ※福祉課	公共施設課
(2)	令和4年度に改定した公共施設総合管理計画に基づき、事務の効率化や管理コストの削減を図るため、各施設の維持管理業務を集約し包括管理を行います。	A	【公共施設課】A ・公共施設課にて、各課が管理している施設の保守管理業務が集約している。今年度においても、各保守管理契約を行い、施設の状況を把握し適宜、関係課へ修繕等の報告、施設の維持・事務効率化に努めた。	各課施設 保守管理業務【公共施設課】	93,373,207	有	【公共施設課】 ・各施設の保守維持管理を行い事務効率化を図る。また、安心、安全な施設が継続して維持できるよう各課連携し対応に努める。	公共施設課
2. 安心・安全で快適な公共施設の整備								
(1)	新庁舎整備事業に伴い、上下水道課や生涯学習振興課が庁舎に集約化が図られましたが、引き続き、住民サービス向上や管理コストの削減を図るため、広域連携等の手法を検討し、給食センターなど公共施設の集約化を図ります。	A	【公共施設課】A ・令和4年度の公共施設等総合管理計画の改定・個別施設計画の策定している。その中で、左記の内容を位置づけしてしている。学校教育課等と連携し、学校給食センターの広域連携(八重瀬町・与那原町)に向け、令和4年度 基本構想・令和5～6年度 基本計画を策定。令和6年10月より協議会が設置。両町の施設の集約化が進むように努めた。				【公共施設課】 ・公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に位置付けしており、計画に合わせ関係課と連携し対応に努める。 ・八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会及び関係課と連携し、各業務の検討事項など具現化に向けて業務を支援する。	公共施設課
(2)	旧耐震基準であった庁舎を新庁舎整備事業で更新しましたが、引き続き、給食センターなど旧耐震基準の施設については、計画的な更新に努めます。	A	【公共施設課】A ・与那原町の学校給食センターは旧耐震基準となっている。解消に向け、八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会及び関係課と連携・協力し、新給食センターの整備に向けた基本計画の策定に努めた。				【公共施設課】 ・八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会及び関係課と連携し、各業務の検討事項など具現化に向けて業務を支援する。	公共施設課
(3)	新庁舎及び町民ホールの整備において、バリアフリー・ユニバーサルデザイン整備を行ったが、引き続き、障がい者や高齢者、妊婦などに配慮した施設を整備します。	A	【公共施設課】A ・施設利用者や各施設管理者からの改善要望等がある場合には、状況把握の上、対応に努めている。車いすの児童生徒の与那原中学校へ入学する予定があり、事前に関係課含め現場を確認し、段差解消の対策を行った。	与那原中学校管理運営事業【公共施設課】	207,000	有	【公共施設課】 ・今後の施設整備に当たり、バリアフリー・ユニバーサルデザイン計画に配慮した、施設整備に努める。また、既設の施設での不具合等があれば施設管理者との協議の上、改善に向け取り組む。	公共施設課
(4)	すべての住民にひらかれ、親しまれ、協働・連携し、未来へ繋がるやさしい公共施設を整備します。	A	【公共施設課】A ・与那原町庁舎建設基本構想・計画に掲げられている左記の基本理念を念頭に、庁舎建設工事を実施。また、各公共施設の保守点検及び修繕、工事等においても長寿命化計画や個別施設計画などに沿った事業を推進している。	各課施設 保守管理業務【公共施設課】	93,373,207	有	【公共施設課】 ・今後の施設整備に当たり、引き続き、左記の基本理念及び各施設に応じた考え方を念頭に施設整備に努める。	公共施設課

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン
施策分野 5－① 消防・救急 【総計108ページ】

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン 施策分野 5-① 消防・救急 【総計108ページ】								評価	A
施策の推進		評価						担当課	
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 消防・救急・救助体制の充実強化									
(1)	引き続き東部消防組合と連携し町民の生命や財産を守るため、消防・救急・救助体制の充実強化に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・消防・救急・救助体制の充実強化のため、東保消防本部と協議の上、必要に応じた負担金の支援を行った。	東部消防組合負担金事業【生活環境安全課】	298,705,000	有	【生活環境安全課】 ・東部消防組合本部と構成3町にて活動内容を確認の上、必要に応じて協議を行う。	生活環境安全課	
(2)	迅速かつ的確な消防活動を行うため、消防・救急車両などの更新や適切な維持管理に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・消防・救急・救助体制の充実強化のため、東保消防本部と協議の上、必要に応じた負担金の支援を行った。	東部消防組合負担金事業【生活環境安全課】	298,705,000	有	【生活環境安全課】 ・東部消防組合本部と構成3町にて活動内容を確認の上、必要に応じて協議を行う。	生活環境安全課	
2. 火災予防対策の推進									
(1)	東部消防組合や消防団員と連携しながら住宅用火災報知器の普及促進に取り組みます。 	A	【生活環境安全課】A ・女性防火クラブと連携して、高齢者宅への住宅用火災報知器の普及促進活動を行った。	東部消防組合負担金事業【生活環境安全課】	298,705,000	有	【生活環境安全課】 ・東部消防組合及び消防団等と連携して住宅用火災報知器普及の活動（訪問活動、広報誌への掲載）を引き続き行う。	生活環境安全課	
(2)	女性防火クラブや幼年消防クラブなどを支援し、火災予防対策の推進に取り組みます。 	A	【生活環境安全課】A ・女性防火クラブと連携し、火災予防啓蒙活動を行った。 ・ファイヤーフェスティバル等の防火イベントで活動を行った。	東部消防組合負担金事業【生活環境安全課】	298,705,000	有	【生活環境安全課】 ・次年度以降も引き続き支援を行い、火災予防対策を推進する。	生活環境安全課	
3. 消防団の充実強化									
(1)	消防団の認識・活動の理解を深めるため、ホームページやSNSなどを活用したPRを図り、消防団員確保に向けた取り組みを支援します。 	B	【生活環境安全課】B ・消防団の訓練活動は頻繁に行われているが、町のホームページ等での活動の紹介が出来なかった。	東部消防組合負担金事業【生活環境安全課】	298,705,000	有	【生活環境安全課】 ・町の広報等を活用し、東部消防警防課と連携し消防団のPRを行う。	生活環境安全課	
(2)	消防職員・消防団・自主防災組織などの連携を密にし、多様化する災害に対応できる体制の強化に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・自主防災組織への補助及び防災士資格取得にかかる費用を補助を行った。	東部消防組合負担金事業【生活環境安全課】	298,705,000	有	【生活環境安全課】 ・次年度以降も引き続き支援を行い、体制強化を推進する。	生活環境安全課	
				防災対策事業（自主防災組織活動補助金）【生活環境安全課】	650,000	有			
				与那原町防災力強化事業（防災士資格取得支援補助金）【生活環境安全課】	22,500	無			

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン
施策分野 5－② 防災・減災 【総計110ページ】

評価 B

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 防災対策の強化								
(1)	地域や学校、事業所などと連携した防災訓練を通して、防災意識の向上に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・11月5日に与那原町地震津波防災避難訓練を、町内各学校及び福祉事務所と連携を取り、避難場所及び避難ルートを検証の上、実施した。	防災対策事業（与那原町地震津波防災避難訓練） 【生活環境安全課】	39,020	無	【生活環境安全課】 ・11月5日の地震津波の日に、与那原町地震津波防災避難訓練を、町内各学校及び福祉事業所と連携を取り避難場所及び避難ルートを検証の上、実施する。	生活環境安全課
(2)	過去に発生した大規模災害や危機事案を検証し、令和4年度に修正を加えた与那原町地域防災計画や防災マップ、各種マニュアルなどを見直し、関係機関や町民に周知を図ります。 	B	【生活環境安全課】B ・直近の地震津波による避難について検証を行い、対応策を講ずるなど取り組んでいるが、住民周知に関する防災マップの見直しについては、災害基準の見直しが令和7年に見込まれており、その新基準に準じた防災マップを作成するため、見送りした。				【生活環境安全課】 ・国や県からの情報に注視し、それに伴う各種マニュアル検討を随時行うとともに、現行の防災マップの在庫数の管理を含め、新基準に準拠した防災マップを作成する。	生活環境安全課
(3)	避難経路に障害の恐れとなる工作物などの安全点検を定期的に行い、安全な避難経路の確保に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・社会福祉協議会より指摘のあった危険個所を点検し改善を行った。				【生活環境安全課】 ・危険個所点検を行い、安全な避難経路等の確保に努める。	生活環境安全課
(4)	引き続き、与那原町災害対策備蓄計画※49に基づいた備蓄食料品の整備を行います。 	A	【生活環境安全課】A ・防災対策備蓄計画に基づき、令和4年度分の備蓄食材を100%備蓄した。 ・災害対策備品を整備した。	与那原町防災力強化事業（非常用食料等） 【生活環境安全課】	1,776,600	有	【生活環境安全課】 ・引き続き備蓄計画に基づき整備を行う。	生活環境安全課
				与那原町防災力強化事業（災害備品整備） 【生活環境安全課】	1,557,600	無		

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン
施策分野 5－② 防災・減災 【総計110ページ】

評価 B

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
2．防災体制の構築								
(1)	自主防災組織（女性防火クラブ、幼年消防クラブなど）の育成や強化を図り、自らを守る「自助」、お互いに助けあう「共助」の意識を高めます。 	A	【生活環境安全課】A ・与那原町自主防災組織への活動補助（資機材購入補助・防犯活動補助）助成を行った。 【総務課】B ・各自治会の自主的、主体的な活動に対して自治会等交付金により支援を行った。	与那原町防災力強化事業（自主防災組織活動補助金）【生活環境安全課】	650,000	有	【生活環境安全課】 ・自主防災組織の活動の補助（防犯活動及び資機材購入補助）を行う。 【総務課】 ・自治会等交付金により各自治会の自主的、主体的な地域活動を引き続き支援する。	生活環境安全課 総務課
(2)	大規模災害時における広域連携が図れる協力体制の構築に努めます。 	C	【生活環境安全課】C ・防災の広域連携に関しては、東部消防本部を中心に構成3町で調整会議をこなっているが、大規模災害時における広域連携について具体的な調整は出来なかった。				【生活環境安全課】 ・協力体制の構築に向けて、東部消防本部を交えて構成3町で意見交換を行う。	生活環境安全課
(3)	災害後の避難所設営や復旧作業などを円滑に行うため、災害ボランティアや支援物資の受入体制を整えます。 	B	【生活環境安全課】B ・災害時の備えとして備蓄食料及び簡易パーテーションの整備を行ったが、災害ボランティアや支援物資の受入体制の検討はできなかった。				【生活環境安全課】 ・継続して受け入れ態勢の強化を行う。	生活環境安全課
(4)	町の上空を通過する航空機の飛来回数の軽減や回避が図れるよう、関係機関と連携していきます。 	B	【生活環境安全課】B ・飛行経路等に関し関係機関の確認を行った。 ・騒音等が確認できる時は、目視による飛行経路確認を行った。				【生活環境安全課】 ・関係機関へ状況の確認を行う。 ・目視による飛行経路の確認を行い、飛行を確認した日時の記録をとる。	生活環境安全課
3．来訪者に対する防災・減災								
(1)	高層建物所有者への周知・協力のもと、津波避難ビル協定を結び、津波避難困難地域の解消に努めます。 	B	【生活環境安全課】B ・新たな津波避難ビル協定を結べてないが、津波避難ビルの条件に該当する建物の把握に努めた。				【生活環境安全課】 ・津波避難ビルの条件に該当する建物の所有者へ津波避難ビル協定締結へ向けて、案内等を行う。	生活環境安全課
(2)	各言語の防災マップを作製したところであるが、それを活用するなど、来訪者への避難所や避難経路の周知に努めます。 	B	【生活環境安全課】B ・防災マップの各種バージョンの配布を行う。				【生活環境安全課】 ・作成した防災マップを軽便駅舎や観光交流施設等に配置・配布し、防災意識の向上につなげる。	生活環境安全課

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン
施策分野 5－③ 防犯・交通安全 【総計113ページ】

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン 施策分野 5-③ 防犯・交通安全 【総計113ページ】								評価	A
施策の推進		評価							担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
1. 防犯活動の推進									
(1)	町内における犯罪発生と町民の被害を未然に防ぐため、与那原警察署や与那原地区防犯協会などと連携し、パトロールや防犯意識の普及・啓発に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・生涯学習振興課や与那原町防犯協会と連携し、町内全域及び各区において夜間巡回パトロールを行った。 ・小学新1年生に防犯ブザーの配布を行った。	防犯対策事業（防犯協会負担金）【生活環境安全課】	230,000	有	【生活環境安全課】 ・与那原地区防犯協会と連携して町内夜間防犯パトロールを行い防犯意識の啓蒙活動を行う。 ・生涯学習振興課や与那原町防犯協会と連携し各区において夜間巡回パトロールを行う。 ・各小学校へ事件事故防止のための防犯ブザーの配布を継続して行う。	生活環境安全課	
(2)	町内における犯罪の未然防止、早期発見・解決を図るため、住民のプライバシーに配慮しながら防犯カメラの設置を継続して推進します。また、防災カメラも併用し防犯対策に努めます。 	B	【生活環境安全課】B ・貸出用簡易設置型感知カメラ（夜間対応）の周知を行った。	防犯対策事業（防犯協会負担金）【生活環境安全課】	230,000	有	【生活環境安全課】 ・簡易設置型感知式カメラ不法投棄現場に設置や各区への貸し出しや要請による一時設置を行う。	生活環境安全課	
2. 交通安全対策の充実									
(1)	与那原警察署や与那原地区交通安全協会などと連携し、交通ルールを守り、交通マナーの向上を図ることで、交通事故発生の抑制に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・交通安全運動期間に町内を巡回し交通安全の広報を行った。 ・通学路において立哨を行い通学路の安全を確保した。	交通安全施設整備事業（与那原町交通安全推進協議会補助金）【生活環境安全課】	265,000	無	【生活環境安全課】 ・交通安全運動期間に町内を巡回し交通安全の広報活動を行い、通学路での立哨を行い通学路の安全を確保する。	生活環境安全課	
				交通安全施設整備事業（与那原地区交通安全推進協議会負担金）【生活環境安全課】	37,525	無			
(2)	ガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設の設置や修繕を行い、交通安全対策に努めます。 	A	【生活環境安全課】A ・危険個所点検にて指摘のあった箇所の改善、区要望によるグリーンベルト修繕等を行った。	交通安全施設整備事業【生活環境安全課】	7,879,300	無	【生活環境安全課】 ・危険個所点検及び区からの要望のある箇所を、優先順位をつけ順位改善を行う。	生活環境安全課	

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン
施策分野 5－④ 環境保全・循環型社会 【総計115ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 快適な生活環境づくりの推進								
(1)	騒音や振動、悪臭などの発生源については、必要に応じ改善や指導の強化を行い、快適な生活環境づくりを進めます。 	A	【生活環境安全課】A ・騒音、振動は事前に申請にきた案件について届出の有無など確認を行った。 ・悪臭については、現場対応し改善に向けて発生源へ指導等を行った。	環境衛生事務運事業（臭気指数測定業務）【生活環境安全課】	149,600	無	【生活環境安全課】 ・騒音規制包、振動規制法、悪臭防止法に基づき適正な処置・指導を実施する。	生活環境安全課
				環境衛生事務運事業（自動車騒音定点測定委託料）【生活環境安全課】	495,000	無		
(2)	月1回の巡回や看板、防犯カメラ及び防犯ライトの設置などを引き続き行い、不法投棄をなくし、ごみの少ない環境づくりを推進します。 	A	【生活環境安全課】A ・随時町内の巡回を行っており、状況が改善されない場所については、不法投棄禁止の看板や防犯カメラの設置を行った。				【生活環境安全課】 ・町内の巡回を継続し、不法時が集中する箇所について、所有者の管理徹底を強化するようＨＰや広報で啓発する。	生活環境安全課
(3)	NPOと連携し、TNR活動を行うなど、野良犬や野良猫、ハブ、害虫対策などに取り組み、快適な生活環境づくりを進めます。 	A	【生活環境安全課】A ・野良猫の数の増加抑制を図る為、繁殖した周辺区域に「餌やりを行わないように」という旨の通知を行った。 ・よなばるネコの会と連携し、ＴＮＲ活動を推進し繁殖抑制に努めた。 ・公共用地の動物全般の死骸回収を行った。	環境衛生事務運営事業（動物死骸供養業務）【生活環境安全課】	90,200	無	【生活環境安全課】 ・猫等が繁殖した周辺地域に「餌やりを行わないように」という旨の周知を行い、各区の掲示板や町のＨＰ等で周知を行う。	生活環境安全課
(4)	NPOと連携し、犬や猫などの適正な飼い方の啓発に取り組みます。 	A	【生活環境安全課】A ・犬猫の飼育やよなばるネコの会によるＴＮＲ活動（去勢補助等）の情報を広報に掲載し、適正な飼い方の啓発に努めた。				【生活環境安全課】 ・犬猫の飼育やＴＮＲ活動情報を広報に掲載し適正な飼育を啓発する。 ・犬猫の飼育についての苦情等について随時対応する。 ・よなばるネコの会と連携し、動物基金を活用したさくら猫事業を継続する。	生活環境安全課
(5)	引き続き、狂犬病予防注射の接種率向上に取り組みます。 	A	【生活環境安全課】A ・各地域を巡回し集団接種を行った。 ・沖縄県獣医師会に犬の登録、狂犬病注射済票交付事務を委託した。	環境衛生事務運営事業（狂犬病予防登録事務）【生活環境安全課】	78,925	無	【生活環境安全課】 ・町広報誌やＨＰ等でワクチン接種を周知し、接種率向上に努める。 ・沖縄県獣医師会に犬の登録・狂犬病済票交付事務を委託する。	生活環境安全課
(6)	苦情のある空地所有者への改善指導を行うなど、空き地や空き家対策に取り組み、快適な生活環境づくりを進めます。 	A	【生活環境安全課】A ・空き地の苦情等に対し、所有者へ改善の通知を行い対応した。				【生活環境安全課】 ・空き地等の苦情に対して、所有者へ随時改善通知を行い対応する。	生活環境安全課
(7)	個人墓地の散在化や無許可墓地の増加による生活環境や景観の悪化を防止するため、宗教法人墓地を活用する旨の指導や無許可建設を防止する巡回にて、無許可墓地の増加を防ぐとともに、公営墓地などの整備を推進します。 	B	【生活環境安全課】B ・個人墓地経営申請について、宗教法人霊園墓地を活用するよう指導及び無許可建設を防止するため現場巡回を行った。 ・公営墓地整備に関する補助事業を確認するなど、予算措置の検討を行った。				【生活環境安全課】 ・個人墓地の経営申請について、慎重に精査する。 ・無許可墓地建設防止の巡回を行う。 ・公営墓地等の整備にかかる補助事業の確認を継続して行う。	生活環境安全課

基本目標 5 「ひと」と「人」とが綱がる安心・安全なエコタウン
施策分野 5－④ 環境保全・循環型社会 【総計115ページ】

評価 A

施策の推進		評価					担当課	
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業				次年度以降の方向性
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
2．自然環境の保全								
(1)	まち並みと調和した憩いの空間の形成に取り組むため、運玉森や雨乞い森の丘陵地、海岸や水路などの自然環境の保全に努めます。 	A	【まちづくり課】A ・世持橋～ゆめなり橋にかけての水路沿いの清掃作業を与原区の団体に委託して実施した。 【生活環境安全課】B ・沖縄県と西原町と水路の浚渫協議を行った。	海岸水路清掃作業業務委託【まちづくり課】	120,000	無	【まちづくり課】 ・引き続き、清掃等を実施し、水辺空間としての魅力向上に取り組む。 【生活環境安全課】 ・沖縄県、西原町との水路浚渫協議の継続し、海岸清掃を行い自然環境保全に取り組む。	まちづくり課 生活環境安全課
(2)	市街化調整区域の開発行為については、大見武地区計画の決定にみられるように、関連法令や条例などを遵守し、慎重に精査・検討を行います。 	A	【まちづくり課】A ・市街化調整区域の開発行為（大見武地区計画エリア含む）について、申請内容について関係法令に適合しているか、沖縄県と連携しながら与那原町として慎重に精査・検討し対応した。 【生活環境安全課】A 広報誌へ掲載し、周知啓発を行った。				【まちづくり課】 ・開発行為について、大見武地区の地区計画エリアを含めて関係法令等に適合しているか精査する。 【生活閑居安全課】 広報やHPに掲載し、周知啓発を行う。	まちづくり課
(3)	広報誌等を活用し、外来種の野外放逐の禁止など、適正な飼い方の指導等を啓発することにより、生態系の保全に努めます。 	A	【生活環境安全課】A 広報誌、掲示板等を活用して適切な飼い方の周知啓発を行った。				【生活環境安全課】 広報誌やHP、掲示物を活用して、周知啓発を行う。	生活環境安全課
3．循環型社会の推進								
(1)	与那原町一般廃棄物処理基本計画※52に基づき、生ごみ処理機導入補助事業及び貸出などを通じて、ごみの抑制を図ります。 	A	【生活環境安全課】A ・生ごみ処理機購入補助事業において補助支給を行った。 ・生ごみ処理機の貸し出しを行った。	清掃事務運営事業（生ごみ処理器）【生活環境安全課】	148,781	有	【生活環境安全課】 ・生ごみ処理機購入補助事業の広報周知を行う。 ・生ごみ処理機の住民への貸し出し事業を実施する。	生活環境安全課
(2)	与那原町地球温暖化防止実行計画※53に基づき、住宅用太陽光発電システム設置補助金事業の継続等を通じて温室効果ガス削減に取り組めます。 	A	【生活環境安全課】A ・住宅用太陽光発電システム設置補助事業において5件の補助支給を行った。	環境衛生事務運営事業（太陽光発電システム設置補助金）【生活環境安全課】	60,000	有	【生活環境安全課】 ・住宅用太陽光発電システム設置補助事業の広報、周知を行う。	生活環境安全課
4．地球温暖化防止実行計画の推進								
(1)	与那原町地球温暖化防止実行計画（事務事業編及び区域施策編）を推進し、地球温暖化防止に努めます。【新規施策】 	A	【生活環境安全課】 ・与那原町地球温暖化防止実行計画（事務事業編）を改定した。	地域再エネ導入計画策定支援事業【生活環境安全課】	1,210,000	有	【生活環境安全課】 ・与那原町地球温暖化防止実行計画（事務事業編及び区域施策編）を推進し、地球温暖化防止に努める。 ・太陽光発電システム設置補助を継続し、地球温暖化防止に努める。	生活環境安全課

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち
施策分野 6－① 農林水産業の振興 【総計120ページ】

評価 B

施策の推進		評価					担当課	
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業				次年度以降の方向性
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 活力ある農業振興								
(1)	新規就農者の確保と担い手の育成のため、農業者の補助や各種団体への運営費の補助に継続的に取り組みます。 	B	【ブランド推進課】B ・各種団体にに対し、運営費等の補助を行うことにより農業の振興を図った。 ・農業者に対し、補助等を行うことにより担い手の育成を図った。	農業事務運営事業【ブランド推進課】	771,586	無	【ブランド推進課】 ・新規就農者の確保や担い手を育成するため、農業者への補助や各種団体への運営費等の補助を行う。	ブランド推進課
				農業振興事務運営事業【ブランド推進課】	2,280,902	無		
(2)	農地の利用状況調査や利用意向調査を引き続き行い、農地中間管理機構※56などを利用した農地の利用促進を図ります。 	B	【ブランド推進課】B ・農地の利用状況調査や利用意向調査を実施した。 ・農地の所有者移転など農地法に基づく手続きを実施し、農地の利用促進に取り組んだ。 ・農地中間管理機構とヒアリングを行い、農地の出し手・受け手の情報を互いに共有した。	農業委員会事務運営事業【ブランド推進課】	1,067,070	無	【ブランド推進課】 ・農地の利用状況調査等を実施し、農地の利用促進を図っていく。 ・農地の出し手と受け手の調整を行い、農地中間管理機構へ繋げることで農地の利活用に取り組む。	ブランド推進課
				機構集積支援事業【ブランド推進課】	1,113,347	無		
(3)	農地等の機能維持のための修繕等を実施しながら、農業への理解を進め、地産地消の推進と環境にやさしい農業の推進を図ります。 	B	【ブランド推進課】B ・町民農園事業により、地産地消の推進等の農業への理解を図った。 ・農道や水路で洪水時のオーバーフローを防止するための整備等を図った。	町民農園運営事業【ブランド推進課】	205,116	無	【ブランド推進課】 ・地産地消の推進等の農業への理解を図っていく。 ・農地等の機能を維持するための修繕等を実施する。	ブランド推進課
				農地事務運営事業【ブランド推進課】	1,039,900	無		
(4)	農業者の要望を基に生産環境の整備を図り、農業の6次産業化※57への支援や農作物のブランド化に取り組めます。 	B	【ブランド推進課】B ・病虫害防除対策事業を実施した。 ・家畜伝染病予防に関する職員派遣等を実施した。 ・ふるさと納税返礼品として、マンゴーを取り扱った。	ミバエ調査事業【ブランド推進課】	254,508	有	【ブランド推進課】 ・農業者の要望をもとに、被覆資材等導入推進補助事業を実施する。 ・沖縄県と連携し、病虫害防除や家畜伝染病予防に取り組む。	ブランド推進課
				畜産事務運営事業【ブランド推進課】	96,000	無		

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち
施策分野 6－① 農林水産業の振興 【総計120ページ】

評価 B

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
2. 森林資源の保全・活用								
(1)	運玉森や雨乞い森などの自然環境に触れ合う環境整備を図ることにより、森林資源の保全と活用を推進します。 	A	【ブランド推進課】A ・運玉森〔平和学習広場〕整備事業（駐車場整備工事、案内板設置工事）を実施した。	運玉森「平和学習広場」整備事業【ブランド推進課】	8,114,080	有	【ブランド推進課】 ・施設の維持管理を適切に行う。	ブランド推進課
(2)	森林地域などについては、病虫害防除、関係団体への補助に加え、森林環境譲与税を活用し、必要に応じて植林を図るなど、自然環境と調和した活用を図ります。 	A	【ブランド推進課】A ・各種林業、緑化団体へ補助を行うことで、自然環境の保全に貢献した。 ・森林環境譲与税の基金積立を行った。	林業振興事務運営事業（負担金補助及び交付金）【ブランド推進課】	86,000	無	【ブランド推進課】 ・各種団体へ補助を行うことで、自然環境の保全に貢献する。 ・森林環境譲与税を積立し、必要に応じて植林等の事業を実施する。	ブランド推進課
				林業振興事務運営事業（森林環境譲与税基金積立分）【ブランド推進課】	2,270,000	無		
3. つくり育てる漁業の推進								
(1)	人材育成や後継者確保及び安定した漁業経営の支援に取り組めます。 	B	【ブランド推進課】B ・令和7年度に実施予定の沖縄県水産構造改善事業（漁具倉庫整備）について、国及び沖縄県へ補助金の要望を行った。				【ブランド推進課】 ・沖縄県水産構造改善事業（漁具倉庫整備）の完了を図る。	ブランド推進課
(2)	水産業のPRや特産品の新メニュー開発・ブランド化の支援を引き続き行うとともに、消費者拡大に向けて取り組みます。 	B	【ブランド推進課】B ・各種資産団体へ補助を行うことで、水産業のPR促進に貢献した。	水産業振興事務運営事業【ブランド推進課】	1,114,557	無	【ブランド推進課】 ・各種団体への補助を行うことで、水産業のPR促進に貢献する。 ・消費拡大への取り組み（学校給食への提供等）について、引き続き検討を行う。	ブランド推進課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち
施策分野 6－② 商工業 【総計123ページ】

評価 B

施策の推進		評価					次年度以降の方向性	担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業				
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
1. 商工業の再構築								
(1)	個性的で魅力ある事業者の誘致や起業につなげることで、空き店舗や空き地の有効活用を促し、活気ある商店街づくりに取り組みます。 9 産業と地域振興の発展につなげる	A	【ブランド推進課】A ・認定連携機関が実施する創業支援セミナーや事業者向け研修の広報を行い、町内の創業支援機運を醸成した。 ・社交飲食業組合が主催する「ゆかたまつり」やスタンプラリー事業に対して補助金を交付し、地域のにぎわい創出と既存飲食店の活性化を後押しした。 ・オリオン通りの空き地を利活用し、与那原町商工会と連携してイベントを実施するなど、空間の一時的活用を通じた地域活性化に取り組んだ。	与那原地区社交飲食業組合活性化補助金【ブランド推進課】	1,800,000	無	【ブランド推進課】 ・商工会と連携のもと、創業者のサポート、創業教育など創業に関する機運を上昇させる取り組みを実施する。	ブランド推進課
(2)	観光ポータルサイトYONABARUNAVIへの掲載などメディアを活用した店舗の紹介を積極的に展開し、PR活動に努めます。 9 産業と地域振興の発展につなげる	A	【ブランド推進課】A ・町内事業者の魅力を広く発信するため、観光ポータルサイト「YONABARUNAVI」への店舗情報の掲載を継続的に実施した。各店舗の特色やサービス内容、写真等を紹介することで、町外からの関心を高め、来訪者の増加を図った。	「YONABARUNAVI」運営費【ブランド推進課】	120,120		【ブランド推進課】 ・町観光ポータルサイトに掲載する情報の質と更新頻度を高める。また、アクセス解析等による効果検証を行い、データに基づいた改善やターゲット設定の最適化を図ることで、より実効性のある広報施策の展開を目指す。	ブランド推進課
2. 商業の振興								
(1)	地域経済の活性化や小規模事業者の振興を図るため、町内事業者へのアンケートや円卓会議から出た事業者の声を反映するための支援を検討します。 9 産業と地域振興の発展につなげる	A	【ブランド推進課】A 町内事業者を対象に実施したアンケート調査により把握した課題やニーズをもとに、事業承継支援を目的とした新たなプロジェクト「NEXT YONABARU」を立ち上げました。同プロジェクトでは、事業承継に関する相談窓口の設置や、実際の承継事例の可視化、後継者不在企業への支援策の検討を行を行った。	町商工会育成補助金【ブランド推進課】	8,600,000	無	【ブランド推進課】 事業者の実情やニーズを把握するためのアンケート調査を継続するとともに「NEXT YONABARU」の枠組みを活用した伴走支援の強化を図る。	ブランド推進課
				町中小企業・小規模企業振興審議会報酬【ブランド推進課】	60,000	無		
				事業者アンケート郵送費【ブランド推進課】	51,880	無		
(2)	上記より抽出した課題を検討し、経営の向上発展・安定を支援することで、後継者不足の解消に取り組みます。 9 産業と地域振興の発展につなげる	A	【ブランド推進課】A 町内事業者へのアンケートで得られた課題や意見をもとに、事業承継を支援するプロジェクト「NEXTYONABARU」を立ち上げた。同プロジェクトでは、後継者不足の実態把握、承継事例の収集・発信、相談対応体制の整備を通じ、地域内での持続可能な経営支援の基盤構築に着手した。	町商工会育成補助金【ブランド推進課】	8,600,000	無	【ブランド推進課】 「NEXT YONABARU」を中心とした支援体制を強化する。また、承継成功事例の可視化・発信を通じ、町内全体で事業承継への理解と機運を高める取組を推進する。	ブランド推進課
(3)	新たな事業の創出を支援し、地域経済の活性化に取り組みます。【新規施策】 9 産業と地域振興の発展につなげる	B	【ブランド推進課】B 創業希望者や新分野進出を目指す町内事業者への支援に向けて、関係機関と連携したセミナー・相談会の広報を行い、支援制度の周知を図った。				【ブランド推進課】 創業者・新規事業者への伴走支援の充実を図るとともに、商工会や金融機関など支援機関との連携体制を強化する。	ブランド推進課

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち
施策分野 6-② 商工業 【総計123ページ】

評価 B

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
3. 工業の振興								
(1)	町民向けに能力開発支援を行います。【新規施策】 	B	【ブランド推進課】B 沖縄赤瓦の文化的価値や需要の喚起を目的に、住宅における赤瓦使用を支援する「沖縄赤瓦使用奨励交付金事業」を継続的に実施しました。また、地域資源としての赤瓦の魅力発信に向けて、町観光ポータルサイト「YONABARUNAVI」を活用し、職人や製造過程の紹介等を通じて認知拡大に努めた。	沖縄赤瓦使用奨励金交付金事業【ブランド推進課】	216,000	無	【ブランド推進課】 赤瓦に関する教育的・観光的な活用の可能性も探るとともに、体験学習や工場見学など、次世代につなげる仕組みづくりを検討する。	ブランド推進課
(2)	本庁舎及び親川広場への沖縄赤瓦使用実績を基に、窯業製品を公共施設へ積極的に活用することを推進し、特色あるまち並みの形成を図ります。 	B	【ブランド推進課】B 沖縄赤瓦・窯業製品の積極的な活用は継続して推進しており、現在整備が計画されている「与原公園施設改築更新工事や板良敷沿岸線東屋建築工事」においては沖縄赤瓦及び窯業製品の活用が設計段階において組み込まれており、令和7年度から事業実施。令和6年度は公共施設等の整備はなし。				【ブランド推進課】 他の公共施設整備や景観形成事業においても赤瓦や窯業製品の積極的活用を促す。	ブランド推進課
(3)	沖縄赤瓦使用奨励交付金事業を継続し、民間の建物などへのヤチムン使用を引き続き推奨します。 	B	【ブランド推進課】B 「沖縄赤瓦使用奨励交付金事業」を継続実施し、町内の住宅等における赤瓦の使用を支援した。	沖縄赤瓦使用奨励金交付金事業【ブランド推進課】	216,000	無	【ブランド推進課】 次年度以降も交付金事業を継続し、沖縄赤瓦の設さらなる利活用の拡大を目指します。	ブランド推進課
(4)	特産品の加工・製造、（１）の支援を通して工業振興を図ります。【新規施策】 	B	【ブランド推進課】B 伝統的な赤瓦文化の継承と地域産業の活性化を目的に、「沖縄赤瓦使用奨励交付金事業」を継続的に実施し、町内住宅における赤瓦使用を支援した。	沖縄赤瓦使用奨励金交付金事業【ブランド推進課】	216,000	無	【ブランド推進課】 次年度以降も交付金事業を継続し、沖縄赤瓦の設さらなる利活用の拡大を目指します。	ブランド推進課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち
施策分野 6－③ 観光 【総計126ページ】

評価 A

施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
1. 三つの重点施策の推進								
(1)	「大綱曳」、「水路」、「MICE」を観光重点施策の柱として積極的に推進します。 8働きがいも経済成長も	A	【ブランド推進課】A 令和6年度は熱中症対策などを徹底しながら、「第42回与那原大綱曳まつり」を開催する事ができた。伝統である大綱曳の実施とともに、与那古浜公園を活用し、町内事業者を中心とした出店やイベントを開催し、町内外から多くの観光客を誘客しました。 また、与那原町の魅力を町内外に発信する為、水路を活用した賑わいイベント「よなばるマルシェ」を開催し、イベント時には環境学習や水環境に関するパネル展示ノルディック・ウォーク等、水質改善につながる啓蒙活動も同時に行いました。 さらに水路周辺の賑わいの創出のために、イルミネーションを水路沿い（ゆめなり橋周辺）に設置しました。	与那原町魅力発信事業（地域活性化イベント運営委託事業）【ブランド推進課】	6,424,303	有	【ブランド推進課】 令和7年度も引き続き、与那原大綱曳まつりの開催し、水路やマリーナを活用した地域活性化イベントを開催します。 また、与那原大綱曳倉庫の適正管理に努めます。	ブランド推進課 企画政策課
		与那原町魅力発信事業（与那原大綱曳まつり運営委員会補助金）【ブランド推進課】	14,778,000	有				
		大綱曳倉庫維持管理事業【ブランド推進課】	778,656	有				
2. 観光振興の推進								
(1)	(仮称) 与那原町観光ビジョンに基づき、計画的な観光振興に取り組みます。 8働きがいも経済成長も	A	【ブランド推進課】A 「与那原町観光ビジョン」の策定を行いました。町民アンケートや事業者ヒアリングを通じた現状把握を行い、地域資源や課題を抽出したうえで、観光の社会的価値・経済的価値の両立を目指す4本の基本方針（経済・社会文化・環境・しくみ）と、6年間の実行計画（ロードマップ）を構築しました。また、観光ビジョンの進行管理や評価指標（KGI/KPI）もあわせて整理し、庁内外の関係者と共有する仕組みを整備しました。 総合的な観光戦略を構築したことは、今後の観光施策の統一的な方向性を確立する基盤として評価されます。策定過程において町民参加や専門家意見を丁寧に取り入れたことも、実効性向上に寄与しました。	与那原町魅力発信事業（与那原町観光ビジョン策定業務委託事業）【ブランド推進課】	5,991,491	無	【ブランド推進課】 令和7年度以降は、本ビジョンに基づき、掲載された施策・事業ごとに進捗管理を行い、PDCAサイクルを意識した運用を図っていきます。特に、年度ごとの進捗確認表（PDCA表）を活用し、施策の実施状況を可視化するとともに、観光消費額や観光満足度といったKGI/KPIの定期的な検証を通じて改善を重ねます。	ブランド推進課
(2)	持続的な観光振興を図るため、観光協会の設立に努めます。 8働きがいも経済成長も	B	【ブランド推進課】B 令和6年度において、観光協会設立に関する具体的な着手には至っておりません。現在、沖縄県において整備が進められている大型MICE施設の稼働時期や活用方法が明確になっておらず、与那原町として観光振興体制の在り方を検討する上での全体像を描き切れていない状況にあります。また、観光協会設立後の運営主体、財政的持続可能性、人材の確保等に関する懸念（赤字団体化のリスク）も解消できておらず、組織設立に向けた判断材料の蓄積が必要な段階です。 本項目は重要な施策であるものの、将来的なMICE誘客や観光需要の拡大と直結する可能性が高いため、安易な形での組織設立に踏み切らなかったことは、現時点では慎重な判断と捉えられます。一方で、持続可能な観光運営体制の必要性は年々高まっており、早期に方向性を明示する必要があります。				【ブランド推進課】 令和7年度以降は、県のMICE施設整備に関する情報収集や、先行自治体の観光協会・DMO等の運営事例調査を進めるとともに、町内の観光資源の管理体制や官民連携の実態を整理します。そのうえで、町に適した組織体制の段階的整備に向けて、庁内外関係者との意見交換を開始する予定です。	ブランド推進課

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち
施策分野 6－③ 観光 【総計126ページ】

評価
A

施策の推進			評価					担当課	
			評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業				次年度以降の方向性
					事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
(3)	近隣自治体と連携を図り、広域的な観光振興に努めることや多言語対応などの人材育成に取り組みます。 8働きがいも経済成長も	B	【ブランド推進課】B 南部の観光協会と協力し、クルーズ船の乗客をメインターゲットとした南部地区の周遊マップを英語版で作成し、市町をまたがるお勧めルートを提示することによって広域的な観光振興に努めました。 また、企画政策課が事務局を務めているサンライズ推進協議会として東海岸地域をめぐるサイクルイベントの実施、先進地への視察研修、スポーツ団体・個人の合宿を実施しました。				【ブランド推進課】 近隣自治体との連携を密にし、今後も広域的な観光振興のため情報収集・意見交換を継続して行います。 また、サンライズ推進協議会にてサイクルイベントの開催、先進地への視察研修を企画政策課にて行う予定です。	ブランド推進課	
(4)	各種イベントやPRを行うことで本町の知名度アップを図り、観光地としてのブランドを構築します。 8働きがいも経済成長も	A	【ブランド推進課】A 与那原の一大行事である与那原大綱曳まつりを町内外にPRするべく、SNSを利用したショート尺の広告を作成、配信を行いました。また当日は現地で観覧できない方々も大綱曳を楽しめるようにYouTubeにてリアルタイムで配信を行いました。 また、沖縄国際映画祭や東京で行われたOKINAWAまつりにも参加し、町外の方々向けに町の観光パンフレットやふるさと納税のPRカードを配布しながら魅力発信に努めました。また、冬の与那原の目玉の一つとしてブランド推進課が事務局を務める与那原まちづくり推進協議会にてイルミネーション点灯式を実施し、冬の観光地としての魅力もPRしました。	与那原町魅力発信事業（与那原大綱曳まつり配信業務）【ブランド推進課】	333,000	有	【ブランド推進課】 令和7年度も引き続き与那原大綱曳におけるSNS広告・大綱曳の配信を行い、町内外に向けての魅力発信を継続して行います。 また、町主催以外のイベントにも積極的に参加し大綱曳をはじめとする、駅舎やふるさと納税のPRをパンフレット配布やブース設置を通じて行います。	ブランド推進課	
				与那原町魅力発信事業（与那原大綱曳まつりSNS広告素材制作委託業務）【ブランド推進課】	199,650	有			
				与那原町魅力発信事業（与那原大綱曳まつりSNS広告素材配信業務）【ブランド推進課】	299,970	有			
				観光振興運営事業【ブランド推進課】	6,369,580	有			
(5)	歴史・文化を活かした観光メニューの創出に努めます。【新規施策】 8働きがいも経済成長も	A	【ブランド推進課】A 開館10年目を迎えた軽便与那原駅舎展示資料館において、展示強化事業を実施しました。本事業では、総合計画に掲げる「歴史・文化を活かした観光メニューの創出」の実現に資するものとして、鉄道史全体を体系的に学べるよう展示内容を全面的に再構成しました。また、これらの展示強化と連動して、町の魅力発信を目的としたPR情報発信事業を実施し、JTB時刻表と連携するなど、多くの鉄道ファンに向けて広報しました。 鉄道遺産を活かした展示強化と、それに連動した情報発信は、与那原町の歴史文化資源を活用した観光メニューの核となるものであり、来館者の理解促進と再訪誘導につながる取り組みでした。また、通史的な構成と戦略的なPRの組み合わせにより、公共交通や脱炭素社会、持続可能な地域づくりといった現代的なテーマにも通じる観光拠点としての価値が高まりました。	与那原町魅力発信事業（軽便駅舎PR情報発信業務）【ブランド推進課】	4,480,935	有	【ブランド推進課】 今後は、駅舎周辺施設との連携による回遊性の向上、来訪者受け入れ環境の整備、体験型コンテンツの導入、教育機関との連携による学習プログラムの開発、さらには継続的な情報発信の強化などに取り組み、町の歴史・文化資源を活かした観光メニューのさらなる充実を図ります。	ブランド推進課	
				与那原町魅力発信事業（軽便駅舎展示強化委託業務）【ブランド推進課】	2,986,500	有			
				与那原町魅力発信事業（軽便与那原駅維持管理事業）【ブランド推進課】	6,593,127	無			

令和 6 年度第 5 次与那原町総合計画評価

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち
施策分野 6－③ 観光 【総計126ページ】

評価
A

施策の推進		評価					担当課	
		評価	実施内容及び評価理由 （実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。）	実施した事業				次年度以降の方向性
				事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無		
3. 観光メニューの創出や観光資源の発掘・強化								
(1)	点在する観光資源を結びつけ、魅力的な観光メニューの創出を図ります。 8 観光がいのち 経済成長を	A	【ブランド推進課】A 令和6年度は、スポーツフェスタと同時開催で地域活性化イベント（よなばるマルシェ）を実施しました。町内には、軽便駅舎や綱引資料館、運玉森、拝所などの観光資源が点在しているため、その周遊を促すべく当イベント内でフォト地図ウォークを行い、参加者が各スポットへと足を運ぶ機会を創出しました。	与那原町魅力発信事業（地域活性化イベント運営委託事業）【ブランド推進課】	6,424,303	有	【ブランド推進課】 令和7年度も引き続き地域活性化イベントを実施し、その中で町の観光スポットの周遊性を高める仕組みを組み込んでいきます。	ブランド推進課
(2)	地域特性を活かした新たな観光資源の発掘に取り組みます。 8 観光がいのち 経済成長を	B	【ブランド推進課】B 与那原地区社交飲食業組合が主催する「ゆかたまつり」や、町内の飲食店を巡るスタンプラリーを実施した。これにより、地元住民と観光客が交流できる機会を提供するとともに、町内回遊の促進と地域経済の活性化を図った。 ゆかたまつりやスタンプラリーの開催により、ナイトタイムの来訪者増加や店舗利用促進といった効果が見られ、地域の魅力発信に寄与した。一方で、昼間の観光資源との連動や、町外からの参加者の拡大には課題が残っており、周遊ルート of のさらなる工夫や広域的な情報発信など、次年度に向けた改善の余地がある。	与那原町魅力発信事業（与那原地区社交飲食業組合補助金）【ブランド推進課】	1,800,000	有	【ブランド推進課】 令和7年度も引き続き、与那原地区社交飲食業組合への補助を実施し、町のナイトタイムコンテンツと観光スポットを組み合わせた周遊性向上の仕組みを取り入れます。昼夜を通して楽しめる観光ルートの造成と情報発信を強化し、来訪者の滞在時間延長と消費拡大を図ります。	ブランド推進課
(3)	観光拠点の機能強化に取り組みます。 8 観光がいのち 経済成長を	A	【ブランド推進課】A 開館10年目を迎えた軽便与那原駅舎展示資料館において、展示強化事業を実施しました。本事業では、総合計画に掲げる「歴史・文化を活かした観光メニューの創出」の実現に資するものとして、鉄道史全体を体系的に学べるよう展示内容を全面的に再構成しました。また、これらの展示強化と連動して、町の魅力発信を目的としたPR情報発信事業を実施し、JTB時刻表と連携するなど、多くの鉄道ファンに向けて広報しました。 鉄道遺産を活かした展示強化と、それに連動した情報発信は、与那原町の歴史文化資源を活用した観光メニューの核となるものであり、来館者の理解促進と再訪誘導につながる取り組みでした。また、通史的な構成と戦略的なPRの組み合わせにより、公共交通や脱炭素社会、持続可能な地域づくりといった現代的なテーマにも通じる観光拠点としての価値が高まりました。	与那原町魅力発信事業（軽便駅舎PR情報発信業務）【ブランド推進課】	4,480,935	有	【ブランド推進課】 今後は、駅舎周辺施設との連携による回遊性の向上、来訪者受け入れ環境の整備、体験型コンテンツの導入、教育機関との連携による学習プログラムの開発、さらには継続的な情報発信の強化などに取り組み、町の歴史・文化資源を活かした観光メニューのさらなる充実を図ります。	ブランド推進課
				与那原町魅力発信事業（軽便駅舎展示強化委託業務）【ブランド推進課】	2,986,500	有		
				与那原町魅力発信事業（軽便与那原駅維持管理事業）【ブランド推進課】	6,593,127	有		

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち		評価					A	
施策分野 6－④ 雇用促進・就業支援 【総計129ページ】								
施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
1. 働く場の確保								
(1)	町内事業者の大半を占める小規模事業者の振興を図り、働く場の確保に努めます。 8 働きがいも経済成長も	A	【ブランド推進課】A 与那原町では、雇用マッチング支援の一環として、令和7年1月に「求人閲覧会・相談会」を開催しました。本取組は、ハローワーク那覇をはじめとする6団体との連携により、町民と就職支援機関との接点を創出し、求人閲覧と個別相談を一体的に実施したものです。相談会には計17名が参加し、定員枠を超過するなど一定の関心とニーズが確認されました。また、求人閲覧会では看護・保育・介護等の分野に加え、町内3事業者の特集パネルを新たに掲示するなど、地域企業との関係強化にも取り組みました。周知面では町LINEや広報誌、SNS等を活用した情報発信により、多様な層への接触を図りました。 本事業は、雇用に関する地域課題である「情報格差」や「支援機関との距離感」を緩和し、町民が身近な場所で多様な支援機関と直接対話できる仕組みを提供した点で有効でした。また、町内企業との連携によるパネル掲示は、地元就業機会の可視化と地元定着促進につながる試みであり、求職者と事業者の相互理解を深めるうえで評価されます。				【ブランド推進課】 今後は、来場者アンケート等によるニーズ分析を通じて対象層や職種の的確な把握を図るとともに、デジタル相談枠の導入や事業者による説明会型イベントの開催など、より柔軟で実効性のあるマッチング機会の提供を検討します。また、町内事業者の協力体制の拡充と支援機関との役割分担の明確化により、官民連携による就労支援体制の質的強化を進めてまいります。	ブランド推進課
(2)	商工会や町内事業者と連携し、求人募集の開拓に努めるとともに求職者への情報提供を行います。 8 働きがいも経済成長も	A	【ブランド推進課】A 与那原町では、雇用マッチング支援の一環として、令和7年1月に「求人閲覧会・相談会」を開催しました。本取組は、ハローワーク那覇をはじめとする6団体との連携により、町民と就職支援機関との接点を創出し、求人閲覧と個別相談を一体的に実施したものです。相談会には計17名が参加し、定員枠を超過するなど一定の関心とニーズが確認されました。また、求人閲覧会では看護・保育・介護等の分野に加え、町内3事業者の特集パネルを新たに掲示するなど、地域企業との関係強化にも取り組みました。周知面では町LINEや広報誌、SNS等を活用した情報発信により、多様な層への接触を図りました。 本事業は、雇用に関する地域課題である「情報格差」や「支援機関との距離感」を緩和し、町民が身近な場所で多様な支援機関と直接対話できる仕組みを提供した点で有効でした。また、町内企業との連携によるパネル掲示は、地元就業機会の可視化と地元定着促進につながる試みであり、求職者と事業者の相互理解を深めるうえで評価されます。				【ブランド推進課】 今後は、来場者アンケート等によるニーズ分析を通じて対象層や職種の的確な把握を図るとともに、デジタル相談枠の導入や事業者による説明会型イベントの開催など、より柔軟で実効性のあるマッチング機会の提供を検討します。また、町内事業者の協力体制の拡充と支援機関との役割分担の明確化により、官民連携による就労支援体制の質的強化を進めてまいります。	ブランド推進課

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち		評価				A		
施策分野 6－④ 雇用促進・就業支援 【総計129ページ】								
施策の推進		評価						担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
2. 雇用のミスマッチの解消								
(1)	ハローワークなどと連携を図り、求職者と求人事業者との雇用のミスマッチの解消に向けて取り組みます。	A	【ブランド推進課】A 与那原町では、雇用マッチング支援の一環として、令和7年1月に「求人閲覧会・相談会」を開催しました。本取組は、ハローワーク那覇をはじめとする6団体との連携により、町民と就職支援機関との接点を創出し、求人閲覧と個別相談を一体的に実施したものです。相談会には計17名が参加し、定員枠を超過するなど一定の関心とニーズが確認されました。また、求人閲覧会では看護・保育・介護等の分野に加え、町内3事業者の特集パネルを新たに掲示するなど、地域企業との関係強化にも取り組みました。周知面では町LINEや広報誌、SNS等を活用した情報発信により、多様な層への接触を図りました。 本事業は、雇用に関する地域課題である「情報格差」や「支援機関との距離感」を緩和し、町民が身近な場所で多様な支援機関と直接対話できる仕組みを提供した点で有効でした。また、町内企業との連携によるパネル掲示は、地元就業機会の可視化と地元定着促進につながる試みであり、求職者と事業者の相互理解を深めるうえで評価されます。				【ブランド推進課】 今後は、来場者アンケート等によるニーズ分析を通じて対象層や職種の的確な把握を図るとともに、デジタル相談枠の導入や事業者による説明会型イベントの開催など、より柔軟で実効性のあるマッチング機会の提供を検討します。また、町内事業者の協力体制の拡充と支援機関との役割分担の明確化により、官民連携による就労支援体制の質的強化を進めてまいります。	ブランド推進課

基本目標 6 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち		評価						A	
施策分野 6－④ 雇用促進・就業支援 【総計129ページ】									
施策の推進		評価							担当課
		評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
				事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
3. 就業意識の向上・職業能力の向上支援									
(1)	町内小中学校を対象とした職場体験学習などで就業意識の向上支援に努めます。 8働きがいも経済成長も	B	【学校教育課】A 学校の要望に応じ、生涯学習振興課と連携し、社会人ボランティアを学校に派遣し、小学校で進路学習、中学校で大綱史講話、職業人講話等を実施し、児童生徒の就学意識向上に努めた。 【ブランド推進課】C ・町教育委員会学校教育課では、小・中学生を対象としたキャリア教育（職業講話・職場見学等）を各校単位で継続的に実施しております。その際の事業者選定や講話者選定の際のアドバイスをを行っています。	事務局運営事業【学校教育課】	0	有	【学校教育課】 ・学校、保護者、地域と連携し職場見学・職場体験を実施 【ブランド推進課】 ・教育関係部署との情報共有を強化し、町としての職場体験の受入資源（企業、施設等）の可視化や一元管理を行う仕組みを商工会とともに検討します。	学校教育課 ブランド推進課	
(2)	高校生・大学生を対象とした職場体験学習や社会人講話などを開催する事により、就業意識の向上を目指す。【新規施策】 8働きがいも経済成長も	C	【ブランド推進課】C ・令和6年度は女性デジタル人材を育成するために「地域女性活躍推進交付金」を活用して、与那原町女性デジタル人材育成事業「YONABARUデジタル入門講座」を実施し、大学生を含め広く募集をしたが学生の応募はなかった。与那原町として受け入れをしている職場体験学習に関しては受け入れ先の課として年間数名を受け入れている。 【企画政策課】B 知念高校生に対して「脱炭素をきっかけとした新たなビジネスを考えよう！」と題してビジネスを考える機会を提供した（計3回）。				【ブランド推進課】 ・町内業務体験や地域課題探究を通じた小規模受入事業の導入から着手する予定です。 【企画政策課】 ・脱炭素を通して、考える機会を提供していく	ブランド推進課	
(3)	町民向けに能力開発支援を行います。【新規施策】 8働きがいも経済成長も	A	【ブランド推進課】A ・令和6年度は女性デジタル人材を育成するために「地域女性活躍推進交付金」を活用して、与那原町女性デジタル人材育成事業「YONABARUデジタル入門講座」を実施し、大学生を含め広く募集をした結果、町内在住・在勤の方の応募が47名（キャンセル待ちを含め）あり、結果32名の方が講座を受講し、「基礎的なデジタル知識とスキル」を身に付けた。				【ブランド推進課】 今後も継続的に「地域女性活躍推進交付金」を活用した事業を推進するとともに、その他事業も取り入れながら町民向けの「能力開発支援」を推進していく。	ブランド推進課	

重点政策 ① 大型MICE施設の関連整備							評価	B
施策の推進	評価						次年度以降の方向性	担当課
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業					
			事業名	予算執行額（円）	実施計画の有無			
(1) 周辺環境整備								
・大型MICE施設の整備に向け、今後も関係機関等と連携を図りながら積極的な推進を図ります。【新規施策】 ・大型 MICE 施設と関連した新たな賑わいの創出や来訪者が快適に滞在できる施設整備など、誰もが訪れたくなる魅力ある周辺環境整備を推進します。 8 観光のにも 環境にも 9 産業と生活環境の 両立をつくり出す	B	【まちづくり課】A ・沖縄県MICE推進課及び西原町と3者で大型MICE施設受入環境整備の1つである都市計画（用途地域・地区計画）の変更に向けて協議を重ね、素案を作成した。 【ブランド推進課】C 令和6年度においては、沖縄県主催の大型MICE施設関連セミナーや説明会等への参加を通じ、施設整備に関する動向や国・県の施策方針、周辺自治体の取り組みに関する情報収集を継続的に行いました。ただし、施設の整備スケジュールや活用方針が確定していない状況にあることから、ブランド推進課としては、町独自の具体施策（賑わい創出、受入環境整備等）には着手していません。 本施策は、県主導で整備が進む大型MICE施設の具体設計や運用構想に大きく依存しており、現時点で町単独で賑わい施策や周辺整備を計画することは困難です。しかしながら、施設稼働後を見据えた準備として、情報収集や関係機関連携の基礎を継続的にやっていることは、今後の施策展開に向けた必要な布石と位置づけられます。 【企画政策課】B ・「マリンタウン地区土地利用基本計画」に基づき土地利用を行う民間事業者を選定、基本協定を令和6年3月に締結。スポーツツーリズムをコンセプトとした土地利用の実現に向けて実施協定を締結するための調整を行った。 ・沖縄県及びサンライズ推進協議会各市町村にて組織された「大型MICEエリア振興に関する協議会」や町長が委員となっている「沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業の検証等に関する有識者委員会」を通して大型MICE施設の整備に向けた調整を行った。	マリンタウン地区公有地活用事業【企画政策課】	22,616,000	有	【まちづくり課】 ・引き続き、沖縄県と西原町と足並みを揃えて都市計画変更（広域調整）に向けて協議を進めていく。 【ブランド推進課】 令和7年度以降は、県によるMICE施設の整備進捗に応じて、与那原町としての役割（例えば東浜マリンタウン周辺の魅力づくり）を具体化する必要があります。観光ビジョンで示された「公共空間の利活用」「町民と観光客が交わる仕組みの構築」とも連動させ、将来的にはMICE参加者の回遊促進やアフターMICE需要の取込みを視野に、官民連携による施設整備・事業企画等の検討を進めていきます。 【企画政策課】 ・スポーツツーリズムをコンセプトとした土地利用の実現に向けて実施協定を締結するための調整を引き続き実施する。	まちづくり課 企画政策課 ブランド推進課	

重点政策 ① 大型MICE施設の関連整備							評価	B
施策の推進	評価						次年度以降の方向性	担当課
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業					
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(2) 施設周辺の大規模交通渋滞対策								
・大型MICE施設の交通需要に対応するため、引き続き国や県、周辺自治体などと連携し、広域道路ネットワークの推進を図ります。 ・大型MICE施設に関連し、広域移動に係る交通需要の増加が見込まれるため、既存の公共交通のみならず新たな公共交通の導入や海や空なども活用した包括的かつ円滑な移動環境の構築について引き続き検討します。 ・MICE開催時においては、既存の交通システムだけではなく、臨時の交通運用や交通規制などにより渋滞の軽減を図る取り組みを引き続き推進します。 11 広域移動の促進 まちづくり	B	【まちづくり課】A ・関係市町と連携を図り、県へ道路整備（ゆめなり線、県道糸満与那原B P）を要請した。 ・与那原バイパス早期の4車線開通に向けて、国へ要請した。 【ブランド推進課】C 令和6年度は、沖縄県が主催するMICE施設整備に関する説明会、セミナー、意見交換会等に職員が継続的に参加し、最新の動向把握と庁内共有を実施しました。特に、東浜マリンタウン地区に整備予定の大型MICE施設に関しては、施設規模や共用開始時期、アクセス動線の構想等が未確定であることから、町単独での具体的な交通対応策の立案には至っておりません。 本施策は、県主導の施設整備に大きく依存する領域であり、町としては拙速な施策展開よりも、広域的な動向を注視しながら、的確なタイミングでの関与を目指すことが重要と考えられます。現時点では、情報収集と庁内の基礎的な知見の蓄積に留まるものの、将来に向けた準備的段階として一定の意味を有しています。 【企画政策課】B ・国や県等と連携した与那原町交通施策検討協議会を開催し、大型MICEの現状について共有をした。 ・広域移動について町民の新たな移動手段の確保を目指しシェアサイクル導入の実証実験を開始した。	交通戦略委員報酬	40,000	有	【まちづくり課】 ・県道糸満与那原B P整備について関係市町と連携しながら、県とルート案や事業スケジュールなどについて協議を行う。 ・与那原バイパスについては、引き続き4車線完全供用に向けて要請を実施する。 【ブランド推進課】 令和7年度以降は、県の動向を注視し、R6年度と同様、最新動向の把握と庁内共有に取り組んでいく。 【企画政策課】 ・県の動向を見据え具体的な対策の検討に向け協議会を継続する。 ・シェアサイクル導入に向け、実証実験を継続する。	企画政策課 まちづくり課 生活環境安全課	
シェアサイクル導入委託	10,035,636	有						

重点政策 ① 大型MICE施設の関連整備							評価	B
施策の推進	評価						担当課	
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(3) 来訪者にやさしい観光の推進								
・ 点在する観光資源を結びつけ、魅力的な観光メニューの創出や地域特性を活かした新たな観光資源の発掘に引き続き取り組みます。 ・ 多言語対応可能な人材の育成や多言語案内システムの構築に取り組み、国外からの来訪者が快適に滞在できる環境整備を図ります。 ・ MICE開催時に波及する産業の獲得に向け、様々な取り組みを引き続き推進し、町内への経済効果拡大を図ります。 ・ 国内外の来訪者が移動しやすい観光振興に資する交通体系の構築に取り組むとともに、具体的な交通手段の導入に向けた検討を進めます。 8観光誘引も観光振興も 9観光と経済振興の両立を目指す 11観光振付けられるまちづくりを	B	【ブランド推進課】B 令和6年度は、スポーツフェスタと同時開催で地域活性化イベント（よなばるマルシェ）を実施しました。町内には、軽便駅舎や綱引資料館、運玉森、拝所などの観光資源が点在しているため、その周遊を促すべく当イベント内でフォト地図ウォークを行い、参加者が各スポットへと足を運ぶ機会を創出しました。 評価理由として、観光面において町内の周遊性を図るイベントを実施できたほか、MICE関連のネットワークに参加したため。 しかし、多言語対応や交通会計の構築に関しては着手が来ていません。 【生涯学習振興課】A ・ 与那原大綱曳及び与那原町文化財映像コンテンツの多言語化を行った。それに加え、親川広場カナチ棒説明版を設置。また、デジタルサイネージを導入し、与那原大綱曳資料館の展示強化拡充を図った。 【企画政策課】B ・ 与那原町への来訪者が移動しやすい交通手段の導入として、シェアサイクル導入の実証実験を開始した。	与那原町魅力発信事業（地域活性化イベント運営委託事業）【ブランド推進課】	6,424,303	無	【ブランド推進課】 令和7年度以降は、インバウンドへの対応を強化するべく多言語案内システム（多言語対応ガイドブック）などの製作に向けて準備を進めていきます。 また、MICE開催時の経済効果の獲得に向けて、関係各所との連携を密にするべく意見交換会や勉強会などへ参加し積極的に情報を収集していく予定です。 【生涯学習振興課】 ・ 導入した多言語化システム含む展示物を町内外に積極的に発信し県外及び外国人来訪者増を図る。 【企画政策課】 ・ シェアサイクル導入に向け、実証実験を継続する。	ブランド推進課 生涯学習振興課 企画政策課	
		シェアサイクル導入委託【企画政策課】	10,035,636	有				
(4) 救急・防災対策								
・ 救急時や大規模災害時における外国人対応として、引き続き多言語対応可能な人材確保や育成に積極的に取り組みます。 ・ 観光防災の観点からも来訪者の避難場所や避難経路の確保、多言語による誘導サインの整備や情報発信に引き続き取り組みます。 11観光振付けられるまちづくりを	B	【生活環境安全課】A ・ 防災マップを多言語化しHPに掲載を実施。避難所の情報発信と避難誘導サインに英語表記を行っている。また東部消防組合消防本部にて、多言語に対応できる職員の採用育成を行っている。 【ブランド推進課】C ・ ブランド推進課では令和6年度に「与那原町観光ビジョン」を策定し、その中で「インバウンド受入体制の強化」や「マネジメント体制の検討」を施策として掲げ観光危機管理や多言語対応の充実に向けた取組、環境整備を検討するとしており、少しずつではあるがインバウンド受け入れに向けた取組を推進している。				【生活環境安全課】 ・ 東部消防組合消防本部と連携し、多言語に対応できる職員の育成と、避難誘導サインの多言語化に取り組む。 【ブランド推進課】 ・ 観光ビジョンに掲げた「持続可能な観光推進」の一環として、来訪者の安全確保を含む観光防災への対応を段階的に進めます。駅舎資料館など公共観光施設における最低限の避難情報の掲示や既存マニュアルの設置・配布を行います。また、地域イベントや事業者研修において多言語対応や外国人誘導に関する啓発も検討していきます。	生活環境安全課 ブランド推進課	

重点政策 ① 大型MICE施設の関連整備							評価	B
施策の推進	評価						担当課	
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(5) 防犯・環境対策								
・犯罪の多様化に対応するため、関係機関と連携し、引き続き防犯パトロールや防犯意識の普及・啓発に努めます。 ・地域の安心・安全を確保するため、関係団体と連携しながら防犯カメラ設置を推進します。 ・大型MICE施設に関連し、事業所系ごみの増加が予測されるため、引き続き南部広域行政組合と連携を図り、ごみ処理対策に取り組めます。 11 安全・安心なまちづくり 12 持続可能なまちづくり	B	【生活環境安全課】B ・与那原町防犯協会と連携し、夜間パトロールを行った。	与那原地区防犯協会負担金【生活環境安全課】	301,000	無	【生活環境安全課】 ・与那原町防犯協会と連携し夜間巡回を行う。 【ブランド推進課】 県によるMICE施設の整備進捗や稼働時期の見通しを注視しながら、南部広域行政組合とも連携し、予測される事業所系ごみの処理体制や負担の在り方について情報収集を進めます。また、観光業者やイベント事業者との定期的な意見交換を通じて、将来的な廃棄物対策や分別・回収体制の整備に向けた足掛かりを検討していきます。	生活環境安全課 ブランド推進課	
			与那原町防犯協会補助金【生活環境安全課】	230,000	有			

重点政策 ② 子どもの貧困対策							評価	A
施策の推進	評価						次年度以降の方向性	担当課
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業					
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(1) 妊娠期からの切れ目のない支援 (妊娠期から乳幼児期)								
・親子手帳交付時や乳幼児健診などの保健事業及び保育施設等で子どもの生活状況の把握に努め、関係機関と連携しながら貧困状態にある子どもの世帯が早期に適切な支援機関や支援者へ繋がる仕組みを構築します。   	A	【健康保険課】A ・妊産婦幼児期からの生活習慣病予防及び丁寧なかかわりの必要な母子の切れ目のない支援のため、ライフステージに応じた健康相談を実施した。※乳幼児健診受診実積率93.6%	母子保健事業【健康保険課】	46,001,860	有	【健康保険課】 ・引き続き健康相談や乳幼児健診を行う。	健康保険課 子育て支援課 福祉課	
(2) 教育支援 (学童期)								
・学校を窓口として、支援が必要な家庭の児童・生徒を早い段階で生活支援や福祉制度につなげるよう、スクールソーシャルワーカーの活用を引き続き実施します。また、教職員が支援につなげる役割を担えるよう、生活支援や福祉制度等の研修を実施します。 ・就学援助制度の効果的な周知及び利用しやすい環境整備に努めます。また、引き続き援助内容の充実を図ります。    	A	【学校教育課】A ・就学援助制度の周知について、町立学校の全ての保護者に通知をし、周知を図った。 ・五者会議などで情報共有し、スクールソーシャルワーカーと連携して支援にあたった。	各学校教育振興事業【学校教育課】	31,597,940	有	【学校教育課】 ・町公式LINEによる周知で、申請忘れがないようにする。	学校教育課 福祉課 子育て支援課	

重点政策 ② 子どもの貧困対策							評価	A
施策の推進	評価						担当課	
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(3) 就労・生活支援 (保護者支援)								
・関係機関等と連携しながら生活保護制度の周知を図り、生活に困っている方の適切な相談に繋がるよう努めるとともに、現支援者に対する継続的な支援、相談等に取り組みます。また、収納関係課は滞納者の状況を把握し、必要に応じ相談機関へつなげます。 ・各種事業等を積極的に活用しながら、継続して子どもが安心して過ごせる居場所を提供し、食事の提供、学習支援などを行います。 ・未就労・求職者や若者に対して、ハローワークなどと連携し、継続した就労支援を行います。 ・ひとり親世帯の生活安定・自立に向け、相談体制の充実や経済的な支援に継続して取り組みます。 ・ひとり親世帯や生活困窮世帯について、町営住宅の優先入居に向け取り組みます。 ・行政や地域など様々な機会を通じて、支援が必要な児童・生徒などを早い段階で福祉制度に繋げるようにします。【新規施策】 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	A	【公共施設課】A ・町営住宅の空き家待ち募集を8月に実施。母子・父子世帯や生活保護、高齢者など住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で優先入居できるよう努めた。 【子育て支援課】A ・子どもの居場所を運営する事業者3か所に運営費補助金を交付し子どもの食事の提供、生活指導、学習支援などの支援を行った。 ・児童自立支援員2人を配置し、子どもの居場所等を巡回して適切な制度への繋がりをサポートした。 ・ひとり親家庭を対象とした様々な支援策の周知に努めた。 ・医療費助成事業を実施し、ひとり親の経済的負担軽減に務めた。 【ブランド推進課】A 与那原町では、雇用マッチング支援の一環として、令和7年1月に「求人閲覧会・相談会」を開催しました。本取組は、ハローワーク那覇をはじめとする6団体との連携により、町民と就職支援機関との接点を創出し、求人閲覧と個別相談を一体的に実施したものです。相談会には計17名が参加し、定員枠を超過するなど一定の関心とニーズが確認されました。また、求人閲覧会では看護・保育・介護等の分野に加え、町内3事業者の特集パネルを新たに掲示するなど、地域企業との関係強化にも取り組みました。周知面では町LINEや広報誌、SNS等を活用した情報発信により、多様な層への接触を図りました。 本事業は、雇用に関する地域課題である「情報格差」や「支援機関との距離感」を緩和し、町民が身近な場所で多様な支援機関と直接対話できる仕組みを提供した点で有効でした。また、町内企業との連携によるパネル掲示は、地元就業機会の可視化と地元定着促進につながる試みであり、求職者と事業者の相互理解を深めるうえで評価されます。 【学校教育課】A ・学校給食費を滞納している保護者に対しては、就学援助制度について説明し、保護者の負担軽減に努めた。 ・不登校・ひきこもり等により学校へ行けない中学生やその保護者を支援・相談する「居場所」を提供し、学習支援、課外学習を通しての生活支援、キャリア教育等を行った。	町営住宅管理事業【公共施設課】	7,028,511	有	【公共施設課】 ・次年度以降についても、住宅困窮者に対し、町営住宅への優先的な入居を図る。 【子育て支援課】 ・地域体験活動等の連携事業を実施する。 ・支援策について周知を充実させるため、広報紙や町公式LINEを活用する。 ・継続して医療費助成を実施する。 【ブランド推進課】 今後は、来場者アンケート等によるニーズ分析を通じて対象層や職種の的確な把握を図るとともに、デジタル相談枠の導入や事業者による説明会型イベントの開催など、より柔軟で実効性のあるマッチング機会の提供を検討します。また、町内事業者の協力体制の拡充と支援機関との役割分担の明確化により、官民連携による就労支援体制の質的強化を進めてまいります。 【学校教育課】 ・町ホームページに就学援助に関するページを作成し、保護者がより情報を得ることができるようにする。 ・次年度も継続して「拠点型子どもの居場所」を実施し、不登校・ひきこもり等により学校へ行けない中学生等やその保護者を支援する。	子育て支援課 福祉課 ブランド推進課 収納関係課 公共施設課 学校教育課	
子どもの貧困緊急対策事業【子育て支援課】	13,300,677	有						
保育士就学資金貸付事業【子育て支援課】	500,000	有						
母子父子医療費助成事業【子育て支援課】	8,049,606	有						
ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業【子育て支援課】	2,868,000	有						
各学校教育振興事業【学校教育課】	31,597,940	有						
拠点型子どもの居場所づくり事業【学校教育課】	23,019,222	有						

重点政策 ③ 生涯健康づくり							評価	A
施策の推進	評価						次年度以降の方向性	担当課
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業					
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(1) 健康意識の向上促進								
・母子・成人保健事業の各健診受診率の更なる向上に努めるとともに、ライフスタイルに応じた健康づくり習慣の定着や町民の健康づくり意識向上を目指し、広報活動や誰もが参加できるイベントの開催など、引き続き関係課と連携しながら取り組みます。また、健診や保健指導が受診しやすい環境・運動実践ができる環境整備を進めます。町民自らの健康状態を把握できる体制の充実と健康状態に応じた健康づくり支援に取り組みます。	A	【健康保険課】A ・誰もが気軽に実践できるウォーキングを推進すると同時に健康意識の向上を図った。※ウォーキング参加者263名、パークゴルフ助成件数9,290件 【生涯学習振興課】A ・高齢者学級（上の森学園）にて、運動指導士（講師）を招き、健康体操を行った	てくてくウォーク事業【健康保険課】	106,253	有	【健康保険課】 ・ウォーキングを推進すると同時に健康意識の向上を図る。 【生涯学習振興課】 ・今後も健康に関する講話等を計画していく	健康保険課 生涯学習振興課 まちづくり課	
			パークゴルフ場利用助成金事業【健康保険課】	1,852,700	有			
(2) 母子・学童期の健康づくり								
・「健やか親子21」や「与那原町子ども・子育て支援事業計画」に基づく妊娠期から子育て期における各種健康診査や健康相談など、更なる母子・学童期の健康づくり事業の充実を図ります。 ・健診などで明らかになっている子どもの健康課題の改善に向け、関係課と連携し取り組むとともに、産後ケア事業の充実を図ります	A	【健康保険課】A ・妊娠婦幼児期からの生活習慣病予防及び丁寧なかかわりの必要な母子の切れ目ない支援のためライフステージに応じた健康相談を実施した。※乳幼児健診受診実績93.6% ・健診時から丁寧なかかわりが必要な児や関係機関から相談のあったケースについて、関係課（子育て支援課、福祉課、健康保険課）と連携を図った。 【学校教育課】A ・令和6年4月に小学校へ入学予定の子ども達を対象として、就学前健診を実施し、健康状態の把握と保健上必要な助言を行った。	母子保健事業【健康保険課】	46,001,860	有	【健康保険課】 ・継続して、ライフステージに応じた健康相談を実施する。 【学校教育課】 ・就学前健診を実施し、健康状態の把握と保健上必要な助言を行う。	健康保険課 学校教育課 子育て支援課	
			事務局運営事業【学校教育課】	33,783,179	無			
(3) 壮年期・高齢期の健康づくり								
・「健康よなばる21」や「高齢者保健福祉計画」に基づく生活習慣病などの発症予防や健康寿命の延伸に継続的に取り組みます。 ・疾病予防のスタートとなる、特定健診やがん検診などの更なる受診率向上に努めると同時に健診結果を正しく理解し、生活習慣の改善ができるよう、保健指導や栄養指導の充実を図ります。 ・疾病の重症化予防のために個々の実態に応じた丁寧な支援に努めるとともに、関係団体や専門医と連携し若いころからの健康づくりに取り組み病気の発症予防に努めます。	A	【健康保険課】A ・各種がん検診と40歳未満からの特定健診で病気の早期発見早期治療を図る事を目的に実施した。※特定健診受診実績率46.9%（令和6年度暫定値）、保健指導実施率80.1%（令和5年度）	成人保健事業【健康保険課】	17,022,613	有	【健康保険課】 ・特定健診で、病気の早期発見、早期治療を図る目的に継続して各種健診を実施する。	健康保険課 福祉課 生涯学習振興課	
(4) 感染症対策の推進								
・予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることを周知し、引き続き予防接種の接種率向上に努めます。	A	【健康保険課】A ・予防接種法に基づく定期予防接種及び高齢者インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン接種の助成、町単費による妊婦及び18歳未満のインフルエンザ接種助成を実施した。 ・風疹抗体検査、予防接種事業を実施した。 ※予防接種率の向上・MRⅡ期の接種実績率84.2%	予防接種事業【健康保険課】	88,201,792	有	【健康保険課】 ・継続して、各種予防接種を実施し、接種率の向上に取り組む。	健康保険課 学校教育課 子育て支援課	

重点政策 ④ 脱炭素地域づくり							評価	A
施策の推進	評価						次年度以降の方向性	担当課
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業					
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(1) 脱炭素先行地域づくり事業								
・当事業の対象エリアと公共施設群の脱炭素化を図ります。	A	【公共施設課】A ・脱炭素事業の推進が図れるよう、課内において共通認識を図り、資料提供や打ち合わせなど、協力体制をもって対応した。 【まちづくり課】B ・東浜地区計画の制限内容に合致するような、取組を推進するため、ソーラーカーポートやソーラー歩廊の導入に向けた調整を行った。 【ブランド推進課】A 軽便与那原駅舎展示資料館においては、太陽光発電設備が導入されており、環境負荷軽減や脱炭素型施設運営に貢献しています。省エネ型の公共施設としての役割を果たしています。 本施策は、施設ごとに再生可能エネルギー導入を進めることを通じて、脱炭素社会への移行と町全体の環境意識向上を図るものです。軽便駅舎展示資料館への太陽光発電導入は、観光・教育・環境の三位一体で町民や来訪者に与那原町の取り組みを示すことができます。 【学校教育課】A ・学校への太陽光導入及び省エネ導入について担当課と連携し取組を行った。 【生涯学習振興課】A ・東浜コミュニティセンター、与那原町コミュニティセンターに太陽光パネルと蓄電池を設置。町コミュニティセンター内の照明のLED化を実施。 【企画政策課】A ・脱炭素先行地域事業や沖縄振興特定事業推進費を活用して、東浜エリアや公共施設群の脱炭素化に取り組んだ。 ・住宅や企業、公共施設への太陽光パネルの導入で年間264.9 t のCO2を削減。	与那原町脱炭素推進補助金【企画政策課】	65,300,000	有	【公共施設課】 ・左記の内容にて、引き続き対応する。 【まちづくり課】 ・引き続き、東浜地区計画との整合が図られるような脱炭素事業の推進を行う。 【ブランド推進課】 令和7年度以降は、観光ビジョンに掲げる「持続可能な観光」の観点と接続し、脱炭素と親和性のある施策（例：自転車周遊、歩いて楽しむまちづくり等）について検討を進めていきます。また、生活環境安全課等と連携し、イベントや情報発信の中で町民や観光客への意識啓発に貢献できる可能性を探ります。 【学校教育課】 ・引き続き担当課と連携し、学校施設の脱炭素について取り組みを進めていく。 【生涯学習振興課】 ・今後は港区コミュニティーセンターにも太陽光パネル、蓄電池を設置予定 【企画政策課】 ・引き続き脱炭素先行地域事業の進捗を図る。住宅や商業施設については導入件数が伸び悩んでいることから、共同提案者との営業会議や全国の脱炭素先行地域へのヒアリング、イベント等導入につながるような手法を模索し実施する。	全課	
			与那原町脱炭素推進補助金（R5繰越）【企画政策課】	119,533,000	有			
			沖縄振興特定事業推進費（民間企業との共同申請につき町負担なし）【企画政策課】	0	有			



重点政策 ④ 脱炭素地域づくり							評価	A
施策の推進	評価						担当課	
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(2) 再生可能エネルギー設備等の最大導入								
・住宅、事業所、公共施設等へ太陽光発電システムなど再生可能エネルギー設備の導入を進めます。 7 太陽光・風力発電を推進する 13 再生可能エネルギーの活用を促進する	A	【公共施設課】A ・企画政策課、OPHDの計画に位置付けられている、阿知利団地や庁舎、かなちホール等の現場調査や資料提供、スケジュール調整など導入推進に向けた連携、協力を行った。 【生活環境安全課】A ・住宅用太陽光発電システム設置補助金交付件数：2件 【ブランド推進課】A 軽便与那原駅舎展示資料館においては、太陽光発電設備が導入されており、環境負荷軽減や脱炭素型施設運営に貢献しています。省エネ型の公共施設としての役割を果たしています。 本施策は、施設ごとに再生可能エネルギー導入を進めることを通じて、脱炭素社会への移行と町全体の環境意識向上を図るものです。軽便駅舎展示資料館への太陽光発電導入は、観光・教育・環境の三位一体で町民や来訪者に与那原町の取り組みを示すことができます。 【学校教育課】A ・学校への太陽光導入について担当課と連携し取組を行った。 【生涯学習振興課】A ・東浜コミュニティセンター、与那原町コミュニティセンターに太陽光パネルと蓄電池を設置。 【企画政策課】A ・住宅24件、企業2件、公共施設7件に再エネを導入。合計265.4kwの再エネを導入した。 ・沖縄振興特定事業推進費を活用して与那原マリーナ内に波力発電装置2基を設置（うち1基は完全民間企業負担による）。	環境衛生事務運営事業_太陽光発電システム設置補助金【生活環境安全課】	60,000	無	【公共施設課】 ・事業推進に向けた連携・協力を引き続き行う。 阿知利団地カーポート 【生活環境安全課】 引続き、太陽光発電システムの設置者に対し補助金を交付する。 【学校教育課】 ・引き続き担当課と連携し、学校施設の脱炭素について取り組みを進めていく。 【生涯学習振興課】 ・今後は港区コミュニティーセンターにも太陽光パネル、蓄電池を設置予定 【企画政策課】 ・引き続き脱炭素先行地域事業の進捗を図る。住宅や商業施設については導入件数が伸び悩んでいることから、共同提案者との営業会議や全国の脱炭素先行地域へのヒアリング、イベント等導入につながるような手法を模索し実施する。	企画政策課 生活環境安全課 総務課 まちづくり課 公共施設課 福祉課 子育て支援課 ブランド推進課 学校教育課 生涯学習振興課 上下水道課	
		与那原町脱炭素推進補助金【企画政策課】	65,300,000	有				
		与那原町脱炭素推進補助金（R5繰越）【企画政策課】	119,533,000	有				
		沖縄振興特定事業推進費（民間企業との共同申請につき町負担なし）【企画政策課】	0	有				

重点政策 ④ 脱炭素地域づくり							評価	A
施策の推進	評価						担当課	
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(3) 省エネの実施による脱炭素の推進								
・住宅、事業所、公共施設等の省エネの設備の導入を進めます。  	A	【公共施設課】 A ・令和5.6年度において、町営江口団地の共用廊下灯のLEDに取替を実施。また、与中屋内運動場においても対応済み。与小屋内運動場は、設計業務委託を発注し、令和7年度予算に工事費を計上。 【まちづくり課】 A ・町内の公園施設の外灯やトイレの電灯についてLED化を図った。 【生活環境安全課】 A ・生ごみ自己処理奨励金交付件数：9件 【ブランド推進課】 A 軽便与那原駅舎展示資料館においては、太陽光発電設備が導入されており、環境負荷軽減や脱炭素型施設運営に貢献しています。省エネ型の公共施設としての役割を果たしています。 本施策は、施設ごとに再生可能エネルギー導入を進めることを通じて、脱炭素社会への移行と町全体の環境意識向上を図るものです。軽便駅舎展示資料館への太陽光発電導入は、観光・教育・環境の三位一体で町民や来訪者に与那原町の取り組みを示すことができています。 【学校教育課】 A ・学校への省エネ設備の導入について担当課と連携し取組を行った。 【生涯学習振興課】 A ・与那原町コミュニティセンターの照明をLED化した。(生涯学習振興課) 【企画政策課】 A ・脱炭素先行地域事業で以下実施 住宅：LED14件、省エネ空調21件、エコキュート25件 事業所：LED2件、省エネ空調3件 公共施設：LED 8 件	町営住宅管理事業R5.6【公共施設課】	5,775,000	有	【公共施設課】 ・与那原小学校屋内運動場LED照明取替工事を発注予定。引き続き省エネ設備の導入に向け取り組む。 【まちづくり課】 引き続き、脱炭素事業へ取り組む。 【生活環境安全課】 引続き、生ごみ処理器等の購入者に対し補助金を交付する。 【学校教育課】 ・引き続き担当課と連携し、学校施設の脱炭素について取り組みを進めていく。 【生涯学習振興課】 ・今後も必要な照明等をLED化していく 【企画政策課】 引き続き脱炭素先行地域事業の進捗を図る。	企画政策課 生活環境安全課 総務課 まちづくり課 公共施設課 福祉課 子育て支援課 ブランド推進課 学校教育課 生涯学習振興課 上下水道課	
		与那原中学校管理運営事業R5【公共施設課】	22,715,000	有				
		与那原小学校管理運営事業R6【公共施設課】	969,100	有				
		清掃事務運営事業_生ごみ処理器等購入補助金【生活環境安全課】	148,781	無				
		与那原町脱炭素推進補助金【企画政策課】	65,300,000	有				

施策の推進	評価						担当課
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性	
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無		
(4) EVを活用した災害に強いまちづくり							
・住民や事業者のEV利用の促進や公用車のEV化、充電器等の導入により、停電時の活用を含め取り組みを進めていきます。 7 とろろま・とろろまに やさしくつなぐ 13 脱炭素社会に 暮らしが寄り添う	A	【総務課】B 令和6年度に一元管理の公用車1台をEVとして購入した。また、公用車管理・更新計画を令和7年2月に策定。本計画では、公用車のEV化等を推進する内容となる。今後は、本計画に沿って公用車を更新する。 公用車の充電器も2基増設し、インフラ整備にも取り組んでいる。 【企画政策課】A ・脱炭素先行地域事業により、共同提案者おきなわパワーHDにてEV車を1台導入。 ・脱炭素先行地域事業により、住宅1件、港区コミュニティセンターへ充放電設備を導入。	公用車EV化等購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業活用）【総務課】	3,255,290	有	【総務課】 公用車管理・更新計画に沿って、公用車をEV化等に更新し、充電設備のインフラも構築していきたいと思います。 【企画政策課】 引き続き脱炭素先行地域事業の進捗を図る。	企画政策課 生活環境安全課 総務課 公共施設課 まちづくり課 上下水道課 健康保険課
		充電器増設工事【総務課】	154,000	無			
		与那原町脱炭素推進補助金【企画政策課】	65,300,000	有			

重点政策 ④ 脱炭素地域づくり							評価	A
施策の推進	評価						担当課	
	評価	実施内容及び評価理由 (実施計画がある場合はその目標達成度も合わせて評価する。)	実施した事業			次年度以降の方向性		
			事業名	予算執行額 (円)	実施計画の有無			
(5) 脱炭素の推進に向けた様々な取り組みの実施と意識の醸成								
・脱炭素の取り組みについて各分野でできることは率先して取り組んでいき、技術発展による新たな脱炭素の手法にも注視し施策への反映を検討します。 ・CO2の削減に向けては、日頃から町民の取り組みが重要となることから、意識の醸成を図る取り組みを実施します。 ・CO2の削減に向けて、山や海などの自然環境を活用した脱炭素化に取り組めます。 ・公園や道路などの樹木等の適正な維持管理に努めるとともに、森林環境贈与税を活用して運玉森周辺への植栽など緑を増やす取り組みを実施します。 7 7月1日より、ふるさと納税の返礼品に、脱炭素の取り組みを実施する町民の取り組みを応援する。 13 町民生活に、脱炭素の取り組みを実施する町民の取り組みを応援する。	B	【公共施設課】A ・脱炭素事業の推進が図れるよう、課内において共通認識を図り、資料提供や打ち合わせなど、協力体制をもって対応した。 協力した施設として、阿知利団地、庁舎、かなちホール。 【ブランド推進課】C ブランド推進課としては、令和6年度において、イベントを行う際の脱炭素ブースを設けるなどの協力的支援は実施してきたものの、当該施策に直接的に該当する脱炭素関連事業の実施には至っていません。今後の観光・商工振興施策との接点を模索している段階です。 町の脱炭素化は環境課等を中心とした分野横断的な取組であり、現段階では、施策への具体的反映には至っていませんが、町の方向性と整合するよう意識的な準備を進めています。 【学校教育課】A ・担当課と連携し学校の授業で脱炭素授業を実施した。 ・てくてく登下校の推進により脱炭素の取り組みを推進した。 ・学校施設の脱炭素化に向けた取り組みを担当課と連携して行った。 【生涯学習振興課】A ・高齢者学級（上の森学園）にて、講師を招き、脱炭素の講話を行った 【企画政策課】A ・国連「地球温暖化を止めるために個人でできる10の行動」をテーマに脱炭素シンポジウムを開催。アンケート回答者の97%が自分でも脱炭素に取り組もうと思ったと回答 ・脱炭素の意識醸成のため、2小学校の4年生、5年生を対象に省エネ教室を実施した。 ・新聞報道などで技術発展による新たな脱炭素手法に注視するとともに、必要に応じて事業者に話を伺ったり、マッチングイベントにも参加した。	与那原町脱炭素普及啓発に関する企画運営委託業務【企画政策課】	3,390,000	有	【公共施設課】 ・左記の内容にて、引き続き対応する。 【ブランド推進課】 令和7年度以降は、観光ビジョンに掲げる「持続可能な観光」の観点と接続し、脱炭素と親和性のある施策（例：自転車周遊、歩いて楽しむまちづくり、環境学習コンテンツの提供等）について検討を進めていきます。また、環境課等と連携し、イベントや情報発信の中で町民や観光客への意識啓発に貢献できる可能性を探ります。 【学校教育課】 ・令和7年度重点施策の一つとして「脱炭素」を位置付けており、引き続き学校を中心とした脱炭素化に取り組んでいく。 【生涯学習振興課】 ・今後も脱炭素に関する講話等を計画していく 【企画政策課】 引き続きシンポジウムや省エネ教室を実施しつつ、さらなる意識醸成を図るため、脱炭素に特化した動画を制作する。	全課	

第5次与那原町総合計画後期基本計画_目標指標一覧

基本目標	施策分野	目標指標	現状値		目標値		令和7年3月時点		達成有無	達成率
1. みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が網がる新しいまちづくり	① 人づくり・地域づくり	①自治会への各種交付金助成件数	16	件	18	件	19	件	○	106%
		②自治会加入率	44.6	%	48	%	44	%	×	91%
	② 自律・自立するまち	①関係機関を含めた勉強会の実施	3	回	1～3	回	1	回	○	100%
		②行政懇談会の参加人数	154	人	220	人	180	人	×	82%
		③各種審議会等における女性登用率	32.4	%	30	%以上	33	%	○	110%
	③ 情報の共有・共鳴で築くまち	SNSの活用	町LINE友達登録のうち町民の割合56%		町LINE友達登録のうち町民の割合80%		61	%	×	76%
	④ 行財政運営	①住民との意見交換会の実施	年1	回	年1～2	回	1	件	○	100%
		②収納率（町税）	98.5	%	98.5	%以上（年率）	98.8	%	○	100%
		③納期内納付率	86.3	%	86.3	%以上（年率）	91.5	%	○	106%
		④経常収支比率	87.3	%	89.7	%	89.4	%	×	99.7%
		⑤財政力指数（3年間平均）	0.46		0.50		0.46	%	×	92%
		⑥DX推進計画に掲げた取り組みの達成数	0	件	22	件	9		×	41%
2. 「いちゃりばちよーでー」平和の心で網がる教育文化のまち	① 学校教育の充実	①全国学力調査平均正答率の全国との差の縮小	小学校	－4.7	小学校	－1.0	1.45		○	145%
			中学校	－2.6	中学校	－1.0	-3.3		×	33%
		②支援が必要な不登校児童を支援することにより、不登校児童の復帰	小中学校の不登校児109人		前年度比1割復帰		前年度比12%		○	120%
		③豊かな心を育む講演会の実施	1	回	1	回	1	回	○	100%
	② 家庭教育の定着	④学校耐力度調査実施数	0	校	1	校	0	校	×	0%
		①子ども寺子屋の開催	4	支部	8	支部	7	支部	×	88%
		②拡大家庭・地域教育部会への参加人数の増加	延べ120	名	延べ150	名	93	名	×	62%
	③ 青少年健全育成	③町ホームページ・町広報紙への情報公開	年2	回	年3	回	2	回	×	67%
		①青少年健全育成町民大会への各種団体の参加者数	100	名	80	名	73	名	×	91%
	④ 地域交流と支援体制	②青少年健全育成に関する講演会の参加者数	95	人	150	人	10	人	×	7%
		①学校評議員への地域住民の登用数	3	名	3	名	14	名	○	467%
		②子ども寺子屋への地域の方の参加	4	支部	8	支部	7	支部	×	88%
		③各種人材バンク登録者数（累計）	250	名	250	名	107	名	×	43%
		④講演会・シンポジウムの開催	年2	回	年2	回以上	2	回	○	100%
	⑤ 心と体を育むスポーツ環境づくり	①スポーツフェスタ参加者数【スポーツ推進員共催】	2000	名	3000	名	2,000	名	×	67%
		②スポーツ大会などへの参加チーム率	70	%	70	%	70	%	○	100%
		③体育施設の年間利用者数【中高校生の部活動・スポーツ少年団活動を	97,000	人（延べ数）	100,000	人（延べ数）	120,449	人	○	120%
	⑥ 文化の保全・継承	①与那原大綱曳への小中学生の参加率	40	%	50	%	40	%	×	80%
		②綱曳資料館への来館者数	3,500	名（延べ数）	4,000	名（延べ数）	4200	名	○	105%
		③町や文化協会主催の文化フェスティバルなどへの来場者数	700	名	1,000	名	800	名	×	80%
		④文化財講座の開催	1	回	1	回	0	回	×	0%

第5次与那原町総合計画後期基本計画_目標指標一覧

基本目標	施策分野	目標指標	現状値		目標値		令和7年3月時点		達成有無	達成率
3. 笑顔あふれるやさしいまち	① 子育て環境づくり	①待機児童の解消	13	人	0	人	7	人	×	46%
		②子どもが安心・安全に過ごせる居場所の設置	15	カ所	16	カ所	15	カ所	×	94%
		③ひとり親家庭相談件数	81	件	60	件	95	件	○	158%
		④児童民生委員・保育所・学校などへの研修会・講演会の開催	0	回	2	回	1	回	×	50%
	② 地域福祉・生活困窮者福祉	①民生委員・児童委員充足率	83.3	%	94.0	%	81.82	%	×	87%
		②各種団体活動人員	93	人	85	人	91	人	○	107%
		③生活保護相談件数（年計）	45	件	60	件	47	件	×	78%
		④長期療養者支援相談件数（年計）	0	件	3	件	0	件	×	0%
	③ 障がい者（児）福祉	①交流センターひざし登録者数	36	名	39	名	25	名	×	64%
		②通所系サービス受給者数（年計） 【就労系や生活介護受給者など】	393	名	403	名	408	名	○	101%
		③障がい相談支援者数（年計）	249	名	300	名	214	名	×	71%
	④ 高齢者福祉	①介護予防事業参加者数	7053	名	7,700	名	9,577	名	○	124%
4 快適に暮らせる美しいまち	①市街地の整備・活用	①市街地再開発などの計画件数	1	件	2	件	1	件	×	50%
		②水路・海岸沿いの遊歩道整備率	85.0	%	100	%	85	%	×	85%
	②道路環境の整備	①町道の新規事業採択路線の件数	5	件	7	件	6	件	×	86%
		①橋梁長寿命化計画に基づく補修や架け替えの件数	4	件	5	件	完了終了			
	③交通環境の充実	①公共交通空白地域に居住する人口の割合	13.0	%	7.0	%	13	%	×	0%
		②バスなどの交通分担率の増加	6.2	%	9.0	%	6.2	%	×	0%
		③交通渋滞を問題と考える町民の割合減少	15.5	%	50.0	%	15.5	%	×	31%
	④計画的な土地利用の推進	①機能性の高い都市計画の見直し件数	2	件	4	件	2	件	×	50%
		②景観に関する町民とのワークショップ件数	1	件	1	件	完了終了			
	⑤上水道	①有収率	93.5	%	94.0	%	91.7	%	×	98%
		②管路耐震化率	指標③を新設し変更							
		③管路耐震適合率	47.8	%	50.0	%	48.8	%	×	98%
	⑥下水道	①計画面積に対する整備率	77.7	%	80.0	%	79.7	%	×	99.6%
		②下水道接続率	76.7	%	81.0	%	77.0	%	×	95%
	⑦公園・緑地の推進	①町民一人当たりの公園面積	5.8	m ² /人	5.8	m ² /人	5.8	m ² /人	○	100.0%
		②公園施設内への公共還元型収益施設の事業実施件数	0	件	1	件	0	件	×	0%
		③公園遊具の改築更新した公園の件数	0	公園	2	公園	0	公園	×	0%
	⑧住宅政策	①公営住宅等長寿命化計画の策定	策定済		見直し		計画期間内			
	⑨公共施設マネジメント	①個別施設計画の策定件数（累計）	7	件	9	件	7	件	×	78%
		②包括施設管理の件数（累計）	0	件	1	件	0	件	×	0%
		③新庁舎、複合施設（町民ホールと保健センター）の一体的な整備	1	件	1	件	完了終了			

第5次与那原町総合計画後期基本計画_目標指標一覧

基本目標	施策分野	目標指標	現状値		目標値		令和7年3月時点		達成有無	達成率
5. 「ひと」と「人」と が綱がる安心・安全 なエコタウン	① 消防・救急	①住宅用火災報知器の設置率	65.0	%	65.0	%以上	69.7	%	○	107%
		②救命講習受講者数（累計）	4420	人 (延べ数)	延べ5850	人 (延べ数)	8,933	人	○	153%
		③消防団員の確保	17	人	20	人	18	人	×	90%
	② 防災・減災	①地震津波避難訓練への年間参加人数	4,420	人	5,200	人	5,123	人	×	99%
		②備蓄食料の整備（累計）	8,340	食	8,910	食	9,212	食	○	103%
		③津波避難困難地域の解消	16	ha	0	ha	16	ha	×	0%
	③ 防犯・交通安全	①防犯カメラの整備（累計）	32	基	63	基	32	基	×	51%
		②刑法犯罪認知件数（5年間平均）	90	件	90	件 以下	88	件	○	98%
		③人口1万人当たりの交通事故発生 件数（5年間平均）	20.9	件	84	件 以下	18.6	件	○	22%
	④ 環境保全・循環型社会	①狂犬病予防注射接種率	56.8	%	62.8	%	55	%	×	88%
		②町民1人1日あたりのごみ排出量	836	g 人/日	700	g 人/日	811	g 人/日	×	86%
		③ごみのリサイクル率	9.1	%	22.5	%	8.7	%	×	39%
		④温室効果ガス排出量の削減量 （2013年度比較）	-18	%	-35	%	工業統計調査の値にてCo2削減量を算出していた が、同調査が廃止となったため集計方法を検討			
6. 伝統を継承し未 来に綱げる産業 のまち	① 農林水産業の振興	①遊休農地を抑制し、農用地を増加 させるための農地マッチング件数	3	件	5	件	3	件	×	60%
		②マグロなどの年間漁獲量	88.9	t	57	t	完了終了			
	② 商工業	①沖縄赤瓦使用奨励金交付件数（5 年間累計）	8	件	15	件	6	件	×	40%
		②新規創業件数（5年間累計）	0	件	5	件	0	件	×	0%
	③ 観光	①観光メニューの創出（5年間累 計）	2	件	5	件	3	件	×	60%
		②与那原大綱曳まつり来訪者数	67,000	人 (延べ 数)	60,000	人 (延べ数)	60,000	人 (延べ 数)	○	100%
		③軽便与那原駅舎の来訪者数	7,000	人 (延べ 数)	10,000	人 (延べ数)	6,703	人 (延べ 数)	×	67%
		④与那原ナビの年間アクセス数	340,000	PV (延べ 数)	370,000	PV (延べ数)	255,904	PV (延べ 数)	×	69%
	④ 雇用促進・就業支援	①求人情報閲覧会の開催	1	回	2	回 以上	1	回	×	50%

第 5 次与那原町総合計画後期基本計画_目標指標一覧

基本目標	施策分野	目標指標	現状値	目標値	令和7年3月時点	達成有無	達成率
全庁体制 重要施策	1. 大型MICE施設	①大型MICE 施設周辺のホテル数	0 棟	1 棟以上	0 棟	×	0%
		②交通渋滞を問題と考える町民の割合減少	15.5 %	50.0 %	15.5 %	×	31%
		③観光メニューの創出（5年間累計）	2 件	5 件	3 件	×	60%
		④津波避難困難区域の解消	16 ha	0 ha	16 ha	×	0%
		⑤防犯カメラ設置計画策定	未策定	策定	未策定	×	0%
		⑥大型MICE施設までの移動手段確保	0 件	2 件	0 件	×	0%
	2. 子どもの貧困対策	①就学前まで児童の未把握児童数	0 人	0 人	0 人	○	100%
		②就学援助制度認知率	100 %	100 %	100 %	○	100%
		③高校進学率	指標⑤を新設し変更				
		④ひとり親家庭相談件数	81 件	60 件	95 件	○	158%
		⑤進路決定者の割合（卒業後状況調査）	96.2 %	96.5 %	97.5 %	○	101%
	3. 生涯健康づくりの推進	①乳幼児健診受診率	93.7 %	90.0 %	93.6 %	○	104%
		②学童の虫歯処置完了者（12 歳児）	8.5 %	40.0 %	5.4 %	×	14%
		③特定健診受診率	49.0 %	60.0 %	46.9 %	×	78%
		④介護認定率（1号認定者）	17.8 %	20.0 %	17.8 %	×	89%
		⑤予防接種率（MRⅡ期予防接種）	77.1 %	95.0 %	84.2 %	×	89%
	4. 脱炭素地域づくり	①CO2の排出量／年	1,534 t	1,304 t	1,400 t	×	93%
		②大型蓄電池の導入	0 件	2 件	0 件	×	0%
		③脱炭素に関するイベント・勉強会等の開催件数	4.0 件/年	8.0 件/年	8 件/年	○	100%